

## 【まとめ】

2025 年 2 月の PCR 新規陽性者数は 7 名で、2024 年 12 月以降、減少している。

## 【解説】

第 1～50 報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス PCR 検査の 2025 年 2 月 28 日までの結果を報告する。2025 年 2 月の PCR 新規陽性者数は 2025 年 1 月より減少した。なお、この表の数値には、抗原キット陽性で PCR は行わなかった患者は含まれていないため、実際の感染者数はこれよりも若干多い。変異株の型は、現在、東京都健安研から詳細に報告されているため、当院での変異株スクリーニング PCR 検査は終了したままとした。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計（2025 年 2 月 28 日判明分まで）

	従来型	R.1 株	$\alpha$ 株	$\delta$ 株	$\omicron$ 株	型判定不能	計
2021 年 2 月	20	2	0	0	0	3	25
3 - 5 月	11	31	86	1	0	19	148
6 - 9 月	0	0	42	188	0	13	243
10 - 12 月	0	0	0	9	1	3	13
2022 年 1 - 3 月	0	0	0	4	416	32	452
4 - 6 月	0	0	0	0	196	25	221
7 - 9 月	0	0	0	0	503	42	545
10 月	0	0	0	0	37	10	47
11 月	0	0	0	0	74	17	91
12 月	0	0	0	0	145	22	167
2023 年 1 月	0	0	0	0	113	61	174
2 月	0	0	0	0	31	30	61
3 月	変異株の型判定は終了						19
4 月	変異株の型判定は終了						28
5 月	変異株の型判定は終了						25
6 月	変異株の型判定は終了						28
7 月	変異株の型判定は終了						50
8 月	変異株の型判定は終了						147
9 月	変異株の型判定は終了						71
10 月	変異株の型判定は終了						32
11 月	変異株の型判定は終了						36
12 月	変異株の型判定は終了						19
2024 年 1 月	変異株の型判定は終了						25
2 月	変異株の型判定は終了						54
3 月	変異株の型判定は終了						18
4 月	変異株の型判定は終了						16
5 月	変異株の型判定は終了						28
6 月	変異株の型判定は終了						10
7 月	変異株の型判定は終了						38
8 月	変異株の型判定は終了						32

9月	変異株の型判定は終了	43
10月	変異株の型判定は終了	9
11月	変異株の型判定は終了	4
12月	変異株の型判定は終了	21
2025年1月	変異株の型判定は終了	19
2月	変異株の型判定は終了	7
合計		2,966

第50報 東京科学大学病院における新型コロナウイルス PCR 検査

2025.2.6

東京科学大学病院 検査部

【まとめ】

2025年1月のPCR新規陽性者数は2024年12月とほぼ同じだった。

【解説】

第1～49報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルスPCR検査の2025年1月31日までの結果を報告する。2025年1月のPCR新規陽性者数は2024年12月とほぼ同じであった。なお、この表の数値には、抗原キット陽性でPCRは行わなかった患者は含まれていないため、実際の感染者数はこれよりも若干多い。変異株の型は、現在、東京都健安研から詳細に報告されているため、当院での変異株スクリーニングPCR検査は終了したままとした。

当院の変異株スクリーニングPCRの結果の累計（2025年1月31日判明分まで）

	従来型	R.1株	α株	δ株	ο株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	3	25
3-5月	11	31	86	1	0	19	148
6-9月	0	0	42	188	0	13	243
10-12月	0	0	0	9	1	3	13
2022年1-3月	0	0	0	4	416	32	452
4-6月	0	0	0	0	196	25	221
7-9月	0	0	0	0	503	42	545
10月	0	0	0	0	37	10	47
11月	0	0	0	0	74	17	91
12月	0	0	0	0	145	22	167
2023年1月	0	0	0	0	113	61	174
2月	0	0	0	0	31	30	61
3月	変異株の型判定は終了						19
4月	変異株の型判定は終了						28
5月	変異株の型判定は終了						25
6月	変異株の型判定は終了						28
7月	変異株の型判定は終了						50
8月	変異株の型判定は終了						147
9月	変異株の型判定は終了						71

10月	変異株の型判定は終了	32
11月	変異株の型判定は終了	36
12月	変異株の型判定は終了	19
2024年1月	変異株の型判定は終了	25
2月	変異株の型判定は終了	54
3月	変異株の型判定は終了	18
4月	変異株の型判定は終了	16
5月	変異株の型判定は終了	28
6月	変異株の型判定は終了	10
7月	変異株の型判定は終了	38
8月	変異株の型判定は終了	32
9月	変異株の型判定は終了	43
10月	変異株の型判定は終了	9
11月	変異株の型判定は終了	4
12月	変異株の型判定は終了	21
2025年1月	変異株の型判定は終了	19
合計		2,959

第49報 東京科学大学病院における新型コロナウイルス PCR 検査

2025.1.9

東京科学大学病院 検査部

【まとめ】

2024年12月のPCR新規陽性者数は11月より増加した。

【解説】

第1～48報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルスPCR検査の2024年12月31日までの結果を報告する。2024年12月のPCR新規陽性者数は11月より増加した。なお、この表の数値には、抗原キット陽性でPCRは行わなかった患者は含まれていないため、実際の感染者数はこれよりも若干多い。変異株の型は、現在、東京都健安研から詳細に報告されているため、当院での変異株スクリーニングPCR検査は終了したままとした。

当院の変異株スクリーニングPCRの結果の累計（2024年12月31日判明分まで）

	従来型	R.1株	α株	δ株	ο株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	3	25
3-5月	11	31	86	1	0	19	148
6-9月	0	0	42	188	0	13	243
10-12月	0	0	0	9	1	3	13
2022年1-3月	0	0	0	4	416	32	452
4-6月	0	0	0	0	196	25	221
7-9月	0	0	0	0	503	42	545
10月	0	0	0	0	37	10	47
11月	0	0	0	0	74	17	91

12月	0	0	0	0	145	22	167
2023年1月	0	0	0	0	113	61	174
2月	0	0	0	0	31	30	61
3月	変異株の型判定は終了						19
4月	変異株の型判定は終了						28
5月	変異株の型判定は終了						25
6月	変異株の型判定は終了						28
7月	変異株の型判定は終了						50
8月	変異株の型判定は終了						147
9月	変異株の型判定は終了						71
10月	変異株の型判定は終了						32
11月	変異株の型判定は終了						36
12月	変異株の型判定は終了						19
2024年1月	変異株の型判定は終了						25
2月	変異株の型判定は終了						54
3月	変異株の型判定は終了						18
4月	変異株の型判定は終了						16
5月	変異株の型判定は終了						28
6月	変異株の型判定は終了						10
7月	変異株の型判定は終了						38
8月	変異株の型判定は終了						32
9月	変異株の型判定は終了						43
10月	変異株の型判定は終了						9
11月	変異株の型判定は終了						4
12月	変異株の型判定は終了						21
合計							2,940

第 48 報 東京科学大学病院における新型コロナウイルス PCR 検査

2024.12.7

東京科学大学病院 検査部

【まとめ】

2024年11月のPCR新規陽性者数は10月より減少した。

【解説】

第1～47報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルスPCR検査の2024年11月30日までの結果を報告する。2024年11月のPCR新規陽性者数は10月より減少した。なお、この表の数値には、抗原キット陽性でPCRは行わなかった患者は含まれていないため、実際の感染者数はこれよりも若干多い。変異株の型は、現在、東京都健安研から詳細に報告されているため、当院での変異株スクリーニングPCR検査は終了したままとした。

当院の変異株スクリーニングPCRの結果の累計（2024年11月30日判明分まで）

	従来型	R.1株	α株	δ株	ο株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	3	25

3 - 5 月	11	31	86	1	0	19	148
6 - 9 月	0	0	42	188	0	13	243
10- 12 月	0	0	0	9	1	3	13
2022 年 1-3 月	0	0	0	4	416	32	452
4-6 月	0	0	0	0	196	25	221
7-9 月	0	0	0	0	503	42	545
10 月	0	0	0	0	37	10	47
11 月	0	0	0	0	74	17	91
12 月	0	0	0	0	145	22	167
2023 年 1 月	0	0	0	0	113	61	174
2 月	0	0	0	0	31	30	61
3 月	変異株の型判定は終了						19
4 月	変異株の型判定は終了						28
5 月	変異株の型判定は終了						25
6 月	変異株の型判定は終了						28
7 月	変異株の型判定は終了						50
8 月	変異株の型判定は終了						147
9 月	変異株の型判定は終了						71
10 月	変異株の型判定は終了						32
11 月	変異株の型判定は終了						36
12 月	変異株の型判定は終了						19
2024 年 1 月	変異株の型判定は終了						25
2 月	変異株の型判定は終了						54
3 月	変異株の型判定は終了						18
4 月	変異株の型判定は終了						16
5 月	変異株の型判定は終了						28
6 月	変異株の型判定は終了						10
7 月	変異株の型判定は終了						38
8 月	変異株の型判定は終了						32
9 月	変異株の型判定は終了						43
10 月	変異株の型判定は終了						9
11 月	変異株の型判定は終了						4
合計							2,919

第 47 報 東京科学大学病院における新型コロナウイルス PCR 検査

2024.11.5

東京科学大学病院 検査部

**【まとめ】**

2024 年 10 月の PCR 新規陽性者数は 9 月より大きく減少した。

**【解説】**

第 1 ～46 報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス PCR 検査の 2024 年

10月31日までの結果を報告する。2024年10月のPCR新規陽性者数は9月より大きく減少した。なお、この表の数値には、抗原キット陽性でPCRは行わなかった患者は含まれていないため、実際の感染者数はこれよりも若干多い。変異株の型は、現在、東京都健康安全研から詳細に報告されているため、当院での変異株スクリーニングPCR検査は終了したままとした。

当院の変異株スクリーニングPCRの結果の累計 (2024年10月31日判明分まで)

	従来型	R.1株	$\alpha$ 株	$\delta$ 株	$o$ 株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	3	25
3-5月	11	31	86	1	0	19	148
6-9月	0	0	42	188	0	13	243
10-12月	0	0	0	9	1	3	13
2022年1-3月	0	0	0	4	416	32	452
4-6月	0	0	0	0	196	25	221
7-9月	0	0	0	0	503	42	545
10月	0	0	0	0	37	10	47
11月	0	0	0	0	74	17	91
12月	0	0	0	0	145	22	167
2023年1月	0	0	0	0	113	61	174
2月	0	0	0	0	31	30	61
3月	変異株の型判定は終了						19
4月	変異株の型判定は終了						28
5月	変異株の型判定は終了						25
6月	変異株の型判定は終了						28
7月	変異株の型判定は終了						50
8月	変異株の型判定は終了						147
9月	変異株の型判定は終了						71
10月	変異株の型判定は終了						32
11月	変異株の型判定は終了						36
12月	変異株の型判定は終了						19
2024年1月	変異株の型判定は終了						25
2月	変異株の型判定は終了						54
3月	変異株の型判定は終了						18
4月	変異株の型判定は終了						16
5月	変異株の型判定は終了						28
6月	変異株の型判定は終了						10
7月	変異株の型判定は終了						38
8月	変異株の型判定は終了						32
9月	変異株の型判定は終了						43
10月	変異株の型判定は終了						9
合計							2,915

## 【まとめ】

2024 年 9 月の PCR 新規陽性者数は 8 月より若干増加した。

## 【解説】

第 1～45 報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス PCR 検査の 2024 年 9 月 30 日までの結果を報告する。2024 年 9 月の PCR 新規陽性者数は 8 月より若干増加した。ただし、9 月上旬は 24 名と多かったが、中旬は 12 名、下旬は 7 名と減少している。なお、この表の数値には、抗原キット陽性で PCR は行わなかった患者は含まれていないため、実際の感染者数はこれよりも多い。変異株の型は、現在、東京都健安研から詳細に報告されているため、当院での変異株スクリーニング PCR 検査は終了したままとした。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計 (2024 年 9 月 30 日判明分まで)

	従来型	R.1 株	$\alpha$ 株	$\delta$ 株	$\omicron$ 株	型判定不能	計
2021 年 2 月	20	2	0	0	0	3	25
3 - 5 月	11	31	86	1	0	19	148
6 - 9 月	0	0	42	188	0	13	243
10- 12 月	0	0	0	9	1	3	13
2022 年 1-3 月	0	0	0	4	416	32	452
4-6 月	0	0	0	0	196	25	221
7-9 月	0	0	0	0	503	42	545
10 月	0	0	0	0	37	10	47
11 月	0	0	0	0	74	17	91
12 月	0	0	0	0	145	22	167
2023 年 1 月	0	0	0	0	113	61	174
2 月	0	0	0	0	31	30	61
3 月	変異株の型判定は終了						19
4 月	変異株の型判定は終了						28
5 月	変異株の型判定は終了						25
6 月	変異株の型判定は終了						28
7 月	変異株の型判定は終了						50
8 月	変異株の型判定は終了						147
9 月	変異株の型判定は終了						71
10 月	変異株の型判定は終了						32
11 月	変異株の型判定は終了						36
12 月	変異株の型判定は終了						19
2024 年 1 月	変異株の型判定は終了						25
2 月	変異株の型判定は終了						54
3 月	変異株の型判定は終了						18
4 月	変異株の型判定は終了						16
5 月	変異株の型判定は終了						28
6 月	変異株の型判定は終了						10
7 月	変異株の型判定は終了						38

8月	変異株の型判定は終了	32
9月	変異株の型判定は終了	43
合計		2,906

第 45 報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス PCR 検査

2024.9.9

東京医科歯科大学病院 検査部

【まとめ】

2024年8月のPCR新規陽性者数は7月より若干減少した。

【解説】

第1～44報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルスPCR検査の2024年8月31日までの結果を報告する。2024年8月のPCR新規陽性者数は7月より若干減少した。なお、この表の数値には、抗原キット陽性でPCRは行わなかった患者は含まれていないため、実際の感染者数はこれよりも多い。変異株の型は、現在、東京都健安研から詳細に報告されている（現在はKP.3株が主流）ため、当院での変異株スクリーニングPCR検査は終了したままとした。

当院の変異株スクリーニングPCRの結果の累計（2024年8月31日判明分まで）

	従来型	R.1株	α株	δ株	ο株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	3	25
3-5月	11	31	86	1	0	19	148
6-9月	0	0	42	188	0	13	243
10-12月	0	0	0	9	1	3	13
2022年1-3月	0	0	0	4	416	32	452
4-6月	0	0	0	0	196	25	221
7-9月	0	0	0	0	503	42	545
10月	0	0	0	0	37	10	47
11月	0	0	0	0	74	17	91
12月	0	0	0	0	145	22	167
2023年1月	0	0	0	0	113	61	174
2月	0	0	0	0	31	30	61
3月	変異株の型判定は終了						19
4月	変異株の型判定は終了						28
5月	変異株の型判定は終了						25
6月	変異株の型判定は終了						28
7月	変異株の型判定は終了						50
8月	変異株の型判定は終了						147
9月	変異株の型判定は終了						71
10月	変異株の型判定は終了						32
11月	変異株の型判定は終了						36
12月	変異株の型判定は終了						19
2024年1月	変異株の型判定は終了						25
2月	変異株の型判定は終了						54
3月	変異株の型判定は終了						18

4月	変異株の型判定は終了	16
5月	変異株の型判定は終了	28
6月	変異株の型判定は終了	10
7月	変異株の型判定は終了	38
8月	変異株の型判定は終了	32
合計		2,863

第 44 報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス PCR 検査

2024.8.8

東京医科歯科大学病院 検査部

【まとめ】

2024年7月のPCR新規陽性者数は6月より増加した。

【解説】

第1～43報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルスPCR検査の2024年7月31日までの結果を報告する。2024年7月のPCR新規陽性者数は6月より増加した。なお、この表の数値には、抗原キット陽性でPCRは行わなかった患者は含まれていないため、実際の感染者数はこれよりも多い。変異株の型は、現在、東京都健安研から詳細に報告されているため、当院での変異株スクリーニングPCR検査は終了したままとした。

当院の変異株スクリーニングPCRの結果の累計（2024年7月31日判明分まで）

	従来型	R.1株	α株	δ株	o株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	3	25
3-5月	11	31	86	1	0	19	148
6-9月	0	0	42	188	0	13	243
10-12月	0	0	0	9	1	3	13
2022年1-3月	0	0	0	4	416	32	452
4-6月	0	0	0	0	196	25	221
7-9月	0	0	0	0	503	42	545
10月	0	0	0	0	37	10	47
11月	0	0	0	0	74	17	91
12月	0	0	0	0	145	22	167
2023年1月	0	0	0	0	113	61	174
2月	0	0	0	0	31	30	61
3月	変異株の型判定は終了						19
4月	変異株の型判定は終了						28
5月	変異株の型判定は終了						25
6月	変異株の型判定は終了						28
7月	変異株の型判定は終了						50
8月	変異株の型判定は終了						147
9月	変異株の型判定は終了						71
10月	変異株の型判定は終了						32
11月	変異株の型判定は終了						36
12月	変異株の型判定は終了						19
2024年1月	変異株の型判定は終了						25

2月	変異株の型判定は終了	54
3月	変異株の型判定は終了	18
4月	変異株の型判定は終了	16
5月	変異株の型判定は終了	28
6月	変異株の型判定は終了	10
7月	変異株の型判定は終了	38
合計		2,831

第 43 報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス PCR 検査

2024.7.5

東京医科歯科大学病院 検査部

**【まとめ】**

2024年6月のPCR新規陽性者数は、5月より減少した。

**【解説】**

第1～42報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルスPCR検査の2024年6月30日までの結果を報告する。

2024年6月のPCR新規陽性者数は5月より減少した。なお、この数値には、抗原キット陽性でPCRは行わなかった患者は含まれていないため、実際の感染者数はこれよりも多い。変異株の型は、現在、東京都健安研から詳細に報告されているため、当院での変異株スクリーニングPCR検査は終了したままとした。

当院の変異株スクリーニングPCRの結果の累計（2024年6月30日判明分まで）

	従来型	R.1株	$\alpha$ 株	$\delta$ 株	$\omicron$ 株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	3	25
3-5月	11	31	86	1	0	19	148
6-9月	0	0	42	188	0	13	243
10-12月	0	0	0	9	1	3	13
2022年1-3月	0	0	0	4	416	32	452
4-6月	0	0	0	0	196	25	221
7-9月	0	0	0	0	503	42	545
10月	0	0	0	0	37	10	47
11月	0	0	0	0	74	17	91
12月	0	0	0	0	145	22	167
2023年1月	0	0	0	0	113	61	174
2月	0	0	0	0	31	30	61
3月	変異株の型判定は終了						19
4月	変異株の型判定は終了						28
5月	変異株の型判定は終了						25
6月	変異株の型判定は終了						28
7月	変異株の型判定は終了						50
8月	変異株の型判定は終了						147
9月	変異株の型判定は終了						71
10月	変異株の型判定は終了						32
11月	変異株の型判定は終了						36

12月	変異株の型判定は終了	19
2024年1月	変異株の型判定は終了	25
2月	変異株の型判定は終了	54
3月	変異株の型判定は終了	18
4月	変異株の型判定は終了	16
5月	変異株の型判定は終了	28
6月	変異株の型判定は終了	10
合計		2,793

第 42 報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス PCR 検査

2024.6.5

東京医科歯科大学病院 検査部

【まとめ】

2024年5月のPCR新規陽性者数は、4月より若干増加した。

【解説】

第1～41報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルスPCR検査の2024年5月31日までの結果を報告する。

2024年5月のPCR新規陽性者数は4月より若干増加した。なお、この数値には、抗原キット陽性でPCRは行わなかった患者は含まれていないため、実際の感染者数はこれよりも多い。変異株の型は、現在、東京都健安研から詳細に報告されているため、当院での変異株スクリーニングPCR検査は終了したままとした。

当院の変異株スクリーニングPCRの結果の累計（2024年5月31日判明分まで）

	従来型	R.1株	$\alpha$ 株	$\delta$ 株	$\omicron$ 株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	3	25
3-5月	11	31	86	1	0	19	148
6-9月	0	0	42	188	0	13	243
10-12月	0	0	0	9	1	3	13
2022年1-3月	0	0	0	4	416	32	452
4-6月	0	0	0	0	196	25	221
7-9月	0	0	0	0	503	42	545
10月	0	0	0	0	37	10	47
11月	0	0	0	0	74	17	91
12月	0	0	0	0	145	22	167
2023年1月	0	0	0	0	113	61	174
2月	0	0	0	0	31	30	61
3月	変異株の型判定は終了						19
4月	変異株の型判定は終了						28
5月	変異株の型判定は終了						25
6月	変異株の型判定は終了						28
7月	変異株の型判定は終了						50
8月	変異株の型判定は終了						147

9月	変異株の型判定は終了	71
10月	変異株の型判定は終了	32
11月	変異株の型判定は終了	36
12月	変異株の型判定は終了	19
2024年1月	変異株の型判定は終了	25
2月	変異株の型判定は終了	54
3月	変異株の型判定は終了	18
4月	変異株の型判定は終了	16
5月	変異株の型判定は終了	28
合計		2,783

第 41 報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス PCR 検査

2024.5.8

東京医科歯科大学病院 検査部

【まとめ】

2024年4月のPCR新規陽性者数は3月よりわずかに減少した。

【解説】

第1～40報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルスPCR検査の2024年4月30日までの結果を報告する。

2024年4月のPCR新規陽性者数は3月よりわずかに減少した。なお、この数値には、抗原キット陽性でPCRは行わなかった患者は含まれていないため、実際の感染者数はこれよりも多い。変異株の型は、現在、東京都健安研から詳細に報告されているため、当院での変異株スクリーニングPCR検査は終了したままとした。

当院の変異株スクリーニングPCRの結果の累計（2024年3月31日判明分まで）

	従来型	R.1株	$\alpha$ 株	$\delta$ 株	$o$ 株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	3	25
3-5月	11	31	86	1	0	19	148
6-9月	0	0	42	188	0	13	243
10-12月	0	0	0	9	1	3	13
2022年1-3月	0	0	0	4	416	32	452
4-6月	0	0	0	0	196	25	221
7-9月	0	0	0	0	503	42	545
10月	0	0	0	0	37	10	47
11月	0	0	0	0	74	17	91
12月	0	0	0	0	145	22	167
2023年1月	0	0	0	0	113	61	174
2月	0	0	0	0	31	30	61
3月	変異株の型判定は終了						19
4月	変異株の型判定は終了						28
5月	変異株の型判定は終了						25

6月	変異株の型判定は終了	28
7月	変異株の型判定は終了	50
8月	変異株の型判定は終了	147
9月	変異株の型判定は終了	71
10月	変異株の型判定は終了	32
11月	変異株の型判定は終了	36
12月	変異株の型判定は終了	19
2024年1月	変異株の型判定は終了	25
2月	変異株の型判定は終了	54
3月	変異株の型判定は終了	18
4月	変異株の型判定は終了	16
合計		2,755

第 40 報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス PCR 検査

2024.4.8

東京医科歯科大学病院 検査部

**【まとめ】**

2024年3月のPCR新規陽性者数は2月の1/3に減少した。

**【解説】**

第1～39報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルスPCR検査の2024年3月31日までの結果を報告する。

2024年3月のPCR新規陽性者数は2月の1/3に減少した。なお、この数値には、抗原キット陽性でPCRは行わなかった患者は含まれていないため、実際の感染者数はこれよりも多い。変異株の型は、現在、東京都健安研から詳細に報告されているため、当院での変異株スクリーニングPCR検査は終了したままとした。

当院の変異株スクリーニングPCRの結果の累計（2024年3月31日判明分まで）

	従来型	R.1株	$\alpha$ 株	$\delta$ 株	$\omicron$ 株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	3	25
3-5月	11	31	86	1	0	19	148
6-9月	0	0	42	188	0	13	243
10-12月	0	0	0	9	1	3	13
2022年1-3月	0	0	0	4	416	32	452
4-6月	0	0	0	0	196	25	221
7-9月	0	0	0	0	503	42	545
10月	0	0	0	0	37	10	47
11月	0	0	0	0	74	17	91
12月	0	0	0	0	145	22	167
2023年1月	0	0	0	0	113	61	174
2月	0	0	0	0	31	30	61
3月	変異株の型判定は終了						19
4月	変異株の型判定は終了						28
5月	変異株の型判定は終了						25
6月	変異株の型判定は終了						28

7月	変異株の型判定は終了	50
8月	変異株の型判定は終了	147
9月	変異株の型判定は終了	71
10月	変異株の型判定は終了	32
11月	変異株の型判定は終了	36
12月	変異株の型判定は終了	19
2024年1月	変異株の型判定は終了	25
2月	変異株の型判定は終了	54
3月	変異株の型判定は終了	18
合計		2,739

第 39 報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス PCR 検査

2024.3.5

東京医科歯科大学病院 検査部

【まとめ】

2024年2月のPCR新規陽性者数は1月よりも増加した。

【解説】

第1～38報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルスPCR検査の2024年2月29日までの結果を報告する。

2024年2月のPCR新規陽性者数は1月よりも増加した。なお、この数値には、抗原キット陽性でPCRは行わなかった患者は含まれていないため、実際の感染者数はこれよりも多い。変異株の型は、現在、東京都健安研から詳細に報告されているため、当院での変異株スクリーニングPCR検査は終了したままとした。

当院の変異株スクリーニングPCRの結果の累計

(2024年2月29日判明分まで)

	従来型	R.1株	$\alpha$ 株	$\delta$ 株	$\omicron$ 株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	3	25
3-5月	11	31	86	1	0	19	148
6-9月	0	0	42	188	0	13	243
10-12月	0	0	0	9	1	3	13
2022年1-3月	0	0	0	4	416	32	452
4-6月	0	0	0	0	196	25	221
7-9月	0	0	0	0	503	42	545
10月	0	0	0	0	37	10	47
11月	0	0	0	0	74	17	91
12月	0	0	0	0	145	22	167
2023年1月	0	0	0	0	113	61	174
2月	0	0	0	0	31	30	61
3月	変異株の型判定は終了						19
4月	変異株の型判定は終了						28
5月	変異株の型判定は終了						25
6月	変異株の型判定は終了						28
7月	変異株の型判定は終了						50
8月	変異株の型判定は終了						147

9月	変異株の型判定は終了	71
10月	変異株の型判定は終了	32
11月	変異株の型判定は終了	36
12月	変異株の型判定は終了	19
2024年1月	変異株の型判定は終了	25
2月	変異株の型判定は終了	54
合計		2,721

第 38 報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス PCR 検査

2024.2.8

東京医科歯科大学病院 検査部

**【まとめ】**

2024年1月のPCR新規陽性者数は2023年12月よりもわずかに増加した。

**【解説】**

第1～37報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルスPCR検査の2024年1月31日までの結果を報告する。

2024年1月のPCR新規陽性者数は2023年12月よりもわずかに増加した。なお、この数値には、抗原キット陽性でPCRは行わなかった患者は含まれていないため、実際の感染者数はこれよりも多い。変異株の型は、現在、東京都健安研から詳細に報告されているため、当院での変異株スクリーニングPCR検査は終了したままとした。

当院の変異株スクリーニングPCRの結果の累計

(2024年1月31日判明分まで)

	従来型	R.1株	α株	δ株	ο株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	3	25
3-5月	11	31	86	1	0	19	148
6-9月	0	0	42	188	0	13	243
10-12月	0	0	0	9	1	3	13
2022年1-3月	0	0	0	4	416	32	452
4-6月	0	0	0	0	196	25	221
7-9月	0	0	0	0	503	42	545
10月	0	0	0	0	37	10	47
11月	0	0	0	0	74	17	91
12月	0	0	0	0	145	22	167
2023年1月	0	0	0	0	113	61	174
2月	0	0	0	0	31	30	61
3月	変異株の型判定は終了						19
4月	変異株の型判定は終了						28
5月	変異株の型判定は終了						25
6月	変異株の型判定は終了						28
7月	変異株の型判定は終了						50
8月	変異株の型判定は終了						147
9月	変異株の型判定は終了						71
10月	変異株の型判定は終了						32

11月	変異株の型判定は終了	36
12月	変異株の型判定は終了	19
2024年1月	変異株の型判定は終了	25
合計		2,667

第 37 報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス PCR 検査

2024.1.10

東京医科歯科大学病院 検査部

**【まとめ】**

2023年12月のPCR新規陽性者数は11月よりも減少しました。

**【解説】**

第1～36報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルスPCR検査の2023年12月31日までの結果を報告する。

2023年12月のPCR新規陽性者数は11月よりも減少した。なお、この数値には、抗原キット陽性でPCRは行わなかった患者は含まれていないため、実際の感染者数はこれよりも多い。

変異株の型は、現在、東京都健安研から詳細に報告されているため、当院での変異株スクリーニングPCR検査は終了したままとした。

当院の変異株スクリーニングPCRの結果の累計

(2023年12月31日判明分まで)

	従来型	R.1株	α株	δ株	ο株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	3	25
3-5月	11	31	86	1	0	19	148
6-9月	0	0	42	188	0	13	243
10-12月	0	0	0	9	1	3	13
2022年1-3月	0	0	0	4	416	32	452
4-6月	0	0	0	0	196	25	221
7-9月	0	0	0	0	503	42	545
10月	0	0	0	0	37	10	47
11月	0	0	0	0	74	17	91
12月	0	0	0	0	145	22	167
2023年1月	0	0	0	0	113	61	174
2月	0	0	0	0	31	30	61
3月	変異株の型判定は終了						19
4月	変異株の型判定は終了						28
5月	変異株の型判定は終了						25
6月	変異株の型判定は終了						28
7月	変異株の型判定は終了						50
8月	変異株の型判定は終了						147
9月	変異株の型判定は終了						71
10月	変異株の型判定は終了						32
11月	変異株の型判定は終了						36

12月	変異株の型判定は終了	19
合計		2,642

第 36 報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス PCR 検査

2023.12.6

東京医科歯科大学病院 検査部

【まとめ】

2023 年 11 月の PCR 新規陽性者数は 10 月とほぼ同じでした。

【解説】

第 1～35 報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス PCR 検査の 2023 年 11 月 30 日までの結果を報告する。

2023 年 11 月の PCR 新規陽性者数は 10 月とほぼ同じだった。なお、この数値には、抗原キット陽性で PCR は行わなかった患者は含まれていないため、実際の感染者数はこれよりも多い。

変異株の型は、現在、東京都健安研から詳細に報告されているため、当院での変異株スクリーニング PCR 検査は終了したままとした。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計

(2023 年 11 月 30 日判明分まで)

	従来型	R.1 株	$\alpha$ 株	$\delta$ 株	o 株	型判定不能	計
2021 年 2 月	20	2	0	0	0	3	25
3 - 5 月	11	31	86	1	0	19	148
6 - 9 月	0	0	42	188	0	13	243
10 - 12 月	0	0	0	9	1	3	13
2022 年 1 - 3 月	0	0	0	4	416	32	452
4 - 6 月	0	0	0	0	196	25	221
7 - 9 月	0	0	0	0	503	42	545
10 月	0	0	0	0	37	10	47
11 月	0	0	0	0	74	17	91
12 月	0	0	0	0	145	22	167
2023 年 1 月	0	0	0	0	113	61	174
2 月	0	0	0	0	31	30	61
3 月	変異株の型判定は終了						19
4 月	変異株の型判定は終了						28
5 月	変異株の型判定は終了						25
6 月	変異株の型判定は終了						28
7 月	変異株の型判定は終了						50
8 月	変異株の型判定は終了						147
9 月	変異株の型判定は終了						71
10 月	変異株の型判定は終了						32
11 月	変異株の型判定は終了						36
合計							2,623

## 【まとめ】

2023 年 10 月の PCR 新規陽性者数は 9 月に比べ半減しました。

## 【解説】

第 1～34 報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス PCR 検査の 2023 年 10 月 31 日までの結果を報告する。

2023 年 10 月の PCR 新規陽性者数は 9 月に比べ半減した。なお、この数値には、抗原キット陽性で PCR は行わなかった患者は含まれていないため、実際の感染者数はこれよりも多い。

変異株の型は、現在、東京都健安研から詳細に報告されているため、当院での変異株スクリーニング PCR 検査は終了したままとした。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計

(2023 年 10 月 31 日判明分まで)

	従来型	R.1 株	$\alpha$ 株	$\delta$ 株	$\omicron$ 株	型判定不能	計
2021 年 2 月	20	2	0	0	0	3	25
3 - 5 月	11	31	86	1	0	19	148
6 - 9 月	0	0	42	188	0	13	243
10- 12 月	0	0	0	9	1	3	13
2022 年 1-3 月	0	0	0	4	416	32	452
4-6 月	0	0	0	0	196	25	221
7-9 月	0	0	0	0	503	42	545
10 月	0	0	0	0	37	10	47
11 月	0	0	0	0	74	17	91
12 月	0	0	0	0	145	22	167
2023 年 1 月	0	0	0	0	113	61	174
2 月	0	0	0	0	31	30	61
3 月	変異株の型判定は終了						19
4 月	変異株の型判定は終了						28
5 月	変異株の型判定は終了						25
6 月	変異株の型判定は終了						28
7 月	変異株の型判定は終了						50
8 月	変異株の型判定は終了						147
9 月	変異株の型判定は終了						71
10 月	変異株の型判定は終了						32
合計							2,587

## 【まとめ】

2023年9月のPCR新規陽性者数は8月に比べ半減しました。

**【解説】**

第1～33報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルスPCR検査の2023年9月30日までの結果を報告する。

2023年9月のPCR新規陽性者数は8月に比べ半減した。なお、この数値には、抗原キット陽性でPCRは行わなかった患者は含まれていないため、実際の感染者数はこれよりも多い。

変異株の型は、現在、東京都健安研から詳細に報告されているため、当院での変異株スクリーニングPCR検査は終了したままとした。

当院の変異株スクリーニングPCRの結果の累計 (2023年9月30日判明分まで)

	従来型	R.1株	α株	δ株	ο株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	3	25
3-5月	11	31	86	1	0	19	148
6-9月	0	0	42	188	0	13	243
10-12月	0	0	0	9	1	3	13
2022年1-3月	0	0	0	4	416	32	452
4-6月	0	0	0	0	196	25	221
7-9月	0	0	0	0	503	42	545
10月	0	0	0	0	37	10	47
11月	0	0	0	0	74	17	91
12月	0	0	0	0	145	22	167
2023年1月	0	0	0	0	113	61	174
2月	0	0	0	0	31	30	61
3月	変異株の型判定は終了						19
4月	変異株の型判定は終了						28
5月	変異株の型判定は終了						25
6月	変異株の型判定は終了						28
7月	変異株の型判定は終了						50
8月	変異株の型判定は終了						147
9月	変異株の型判定は終了						71
合計							2,555

「型判定不能」は検体中のウイルス量がごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。

第33報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルスPCR検査 2023.9.4  
東京医科歯科大学病院 検査部

**【まとめ】**

2023年8月のPCR新規陽性者数は7月に比べ約3倍に増加しました。

**【解説】**

第1～32報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルスPCR検査の2023年8月31日までの結果を報告する。

2023年8月のPCR新規陽性者数は7月に比べ約3倍に増加した。なお、この数値には、抗原キット陽性でPCRは行わなかった患者は含まれていないため、実際の感染者数はこれよりも多い。

変異株の型は、現在、オミクロン株XBB系統が大半を占めることが東京都健安研から報告されているため、当院での変異株スクリーニングPCR検査は終了したままとした。

当院の変異株スクリーニングPCRの結果の累計 (2023年8月31日判明分まで)

	従来型	R.1株	$\alpha$ 株	$\delta$ 株	$\omicron$ 株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	3	25
3-5月	11	31	86	1	0	19	148
6-9月	0	0	42	188	0	13	243
10-12月	0	0	0	9	1	3	13
2022年1-3月	0	0	0	4	416	32	452
4-6月	0	0	0	0	196	25	221
7-9月	0	0	0	0	503	42	545
10月	0	0	0	0	37	10	47
11月	0	0	0	0	74	17	91
12月	0	0	0	0	145	22	167
2023年1月	0	0	0	0	113	61	174
2月	0	0	0	0	31	30	61
3月	変異株の型判定は終了						19
4月	変異株の型判定は終了						28
5月	変異株の型判定は終了						25
6月	変異株の型判定は終了						28
7月	変異株の型判定は終了						50
8月	変異株の型判定は終了						147
合計							2,484

「型判定不能」は検体中のウイルス量がごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。

**【まとめ】**

2023年7月のPCR新規陽性者数は6月に比べ増加しました。

**【解説】**

第1～31報(下記)に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルスPCR検査の2023年7月31日までの結果を報告する。

2023年7月のPCR新規陽性者数は6月に比べ増加した。なお、この数値には、抗原キット陽性でPCRは行われなかった患者は含まれていないため、実際の感染者数はこれよりも多い。

変異株の型は、現在、オミクロン株XBB系統が大半を占めることが知られているため、当院での変異株スクリーニングPCR検査は終了したままとした。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計

(2023年7月31日判明分まで)

	従来型	R.1株	α株	δ株	ο株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	3	25
3-5月	11	31	86	1	0	19	148
6-9月	0	0	42	188	0	13	243
10-12月	0	0	0	9	1	3	13
2022年1-3月	0	0	0	4	416	32	452
4-6月	0	0	0	0	196	25	221
7-9月	0	0	0	0	503	42	545
10月	0	0	0	0	37	10	47
11月	0	0	0	0	74	17	91
12月	0	0	0	0	145	22	167
2023年1月	0	0	0	0	113	61	174
2月	0	0	0	0	31	30	61
3月	変異株の型判定は終了						19
4月	変異株の型判定は終了						28
5月	変異株の型判定は終了						25
6月	変異株の型判定は終了						28
7月	変異株の型判定は終了						50
合計							2,337

「型判定不能」は検体中のウイルス量のごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。

第31報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス PCR 検査

2023.7.6

東京医科歯科大学病院 検査部

【まとめ】

2023年6月のPCR新規陽性者数は5月に比べ明らかな増加はみられなかった。

【解説】

第1～30報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス PCR 検査の2023年6月30日までの結果を報告する。

2023年6月のPCR新規陽性者数は5月に比べ明らかな増加はみられなかった。なお、この数値には、抗原キット陽性でPCRは行われなかった患者は含まれていないため、実際の感染者数はこれよりも多い。

変異株の型は、現在、オミクロン株XBB系統が大半を占めることが知られているため、当院での変異株スクリーニングPCR検査は終了したままとした。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計

(2023年6月30日判明分まで)

	従来型	R.1株	α株	δ株	ο株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	3	25
3-5月	11	31	86	1	0	19	148
6-9月	0	0	42	188	0	13	243

10-12月	0	0	0	9	1	3	13
2022年1-3月	0	0	0	4	416	32	452
4-6月	0	0	0	0	196	25	221
7-9月	0	0	0	0	503	42	545
10月	0	0	0	0	37	10	47
11月	0	0	0	0	74	17	91
12月	0	0	0	0	145	22	167
2023年1月	0	0	0	0	113	61	174
2月	0	0	0	0	31	30	61
3月	変異株の型判定は終了						19
4月	変異株の型判定は終了						28
5月	変異株の型判定は終了						25
6月	変異株の型判定は終了						28
合計							2,287

「型判定不能」は検体中のウイルス量がごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。

第30報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス PCR 検査

2023.6.5

東京医科歯科大学病院 検査部

**【まとめ】**

2023年5月のPCR新規陽性者数は4月に比べ明らかな増加はみられなかった。

**【解説】**

第1～29報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルスPCR検査の2023年5月31日までの結果を報告する。

2023年5月のPCR新規陽性者数は4月に比べ明らかな増加はみられなかった。なお、抗原キットは陽性でPCRは行われなかった患者は新規陽性者数に含まれていない。

新規陽性者が週に10名未満と少ないままであるため、変異株スクリーニングPCR検査は終了したままとした。

当院の変異株スクリーニングPCRの結果の累計

(2023年5月31日判明分まで)

	従来型	R.1株	α株	δ株	ο株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	3	25
3-5月	11	31	86	1	0	19	148
6-9月	0	0	42	188	0	13	243
10-12月	0	0	0	9	1	3	13
2022年1-3月	0	0	0	4	416	32	452
4-6月	0	0	0	0	196	25	221
7-9月	0	0	0	0	503	42	545
10月	0	0	0	0	37	10	47
11月	0	0	0	0	74	17	91
12月	0	0	0	0	145	22	167
2023年1月	0	0	0	0	113	61	174

2月	0	0	0	0	31	30	61
3月	変異株の型判定は終了						19
4月	変異株の型判定は終了						28
5月	変異株の型判定は終了						25
合計							2,259

「型判定不能」は検体中のウイルス量がごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。

第 29 報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス PCR 検査

2023.5.5

東京医科歯科大学病院 検査部

**【まとめ】**

2023 年 4 月の PCR 新規陽性者数は 3 月に比べ若干増加したが、有意な増加傾向はみられなかった。

**【解説】**

第 1～28 報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス PCR 検査の 2023 年 4 月 30 日までの結果を報告する。

2023 年 4 月の PCR 新規陽性者数は 3 月に比べ若干増加したが、有意な増加傾向はみられなかった。なお、新規陽性者が週に 10 名未満と少ないままであるため、変異株スクリーニング PCR 検査は終了したままとした。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計

(2023 年 4 月 30 日判明分まで)

	従来型	R.1 株	$\alpha$ 株	$\delta$ 株	o 株	型判定不能	計
2021 年 2 月	20	2	0	0	0	3	25
3 - 5 月	11	31	86	1	0	19	148
6 - 9 月	0	0	42	188	0	13	243
10 - 12 月	0	0	0	9	1	3	13
2022 年 1 - 3 月	0	0	0	4	416	32	452
4 - 6 月	0	0	0	0	196	25	221
7 - 9 月	0	0	0	0	503	42	545
10 月	0	0	0	0	37	10	47
11 月	0	0	0	0	74	17	91
12 月	0	0	0	0	145	22	167
2023 年 1 月	0	0	0	0	113	61	174
2 月	0	0	0	0	31	30	61
3 月	変異株の型判定は終了						19
4 月	変異株の型判定は終了						28
合計							2,234

「型判定不能」は検体中のウイルス量がごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。

東京医科歯科大学病院 検査部

**【まとめ】**

2023 年 3 月は PCR 新規陽性者数が減少し続けた。懸念されていたリバウンドは見られなかった。

**【解説】**

第 1～27 報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス PCR 検査の 2023 年 3 月 31 日までの結果を報告する。

3 月は PCR 新規陽性者数が漸減し続けた。懸念されていた、規制緩和に伴うリバウンドは見られていない。なお、新規陽性者が週に数名程度に減ったため、変異株スクリーニング PCR 検査はいったん終了することにした。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計 (2023 年 3 月 31 日判明分まで)

	従来型	R.1 株	$\alpha$ 株	$\delta$ 株	$\omicron$ 株	型判定不能	計
2021 年 2 月	20	2	0	0	0	3	25
3 - 5 月	11	31	86	1	0	19	148
6 - 9 月	0	0	42	188	0	13	243
10 - 12 月	0	0	0	9	1	3	13
2022 年 1 - 3 月	0	0	0	4	416	32	452
4 - 6 月	0	0	0	0	196	25	221
7 - 9 月	0	0	0	0	503	42	545
10 月	0	0	0	0	37	10	47
11 月	0	0	0	0	74	17	91
12 月	0	0	0	0	145	22	167
2023 年 1 月	0	0	0	0	113	61	174
2 月	0	0	0	0	31	30	61
3 月	変異株の型判定は終了						19
合計							2,206

「型判定不能」は検体中のウイルス量がごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。

東京医科歯科大学病院 検査部

**【まとめ】**

2023 年 2 月は PCR 新規陽性者数が漸減し続けた。懸念されていた XBB 株によるリバウンドは見られていない。

**【解説】**

第 1～26 報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニング PCR の 2023 年 3 月 3 日までの結果を報告する。当院では新型コロナウイルス定量 PCR 検査で陽性が判明した全患者（入院、外来とも）に対して、PCR 産物の解離曲線分析法などを用いた変異株スクリ

ーニングを実施している。新たに出現した BF.7 や BQ.1 などの BA.5 亜系統や、BA.2.75 や XBB.1 などの BA.2 亜系統を検出するために、R346T 変異や F486S/V 変異の解析を加えている。

2月 は PCR 新規陽性者数が漸減し続けた。これまで主流であった BA.5 の比率が漸減し、BA.5 亜系統の比率が増えたが、懸念されていた XBB 株によるリバウンドは見られていない。

当院でのオミクロン株の各系統の流行の推移をオープンアクセス論文として報告した。

<https://doi.org/10.1002/iid3.783>

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計 (3月3日判明分まで)

	従来型	R.1 株	α 株	δ 株	ο 株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	3	25
3-5月	11	31	86	1	0	19	148
6-9月	0	0	42	188	0	13	243
10-12月	0	0	0	9	1	3	13
2022年1-3月	0	0	0	4	416	32	452
4-6月	0	0	0	0	196	25	221
7-9月	0	0	0	0	503	42	510
10月	0	0	0	0	37	10	47
11月	0	0	0	0	74	17	91
12月	0	0	0	0	145	22	167
2023年1月	0	0	0	0	113	61	174
2月	0	0	0	0	31	30	61
3月(3日まで)	0	0	0	0	0	6	6
合計	31	33	128	202	1,516	283	2,193

「型判定不能」は検体中のウイルス量がごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。

#### 変異株スクリーニング PCR

変異株	型	変異パターン	2/27-3/3	2/20-24	2/13-17	2/6-10	1/30-2/3
オミクロン	BA.1/2	452L, 346R, 486F	0	0	0	0	0
	BA.2.75	452L, 346T, 486F	0	0	0	0	6
	XBB.1	452L, 346T, 486S	0	0	0	0	0
	XBB.1.5	452L, 346T, 486V	0	0	0	0	0
	BA.4/5	452R, 346R, 486F	0	2	4	5	2
	BF.7/BQ.1 等	452R, 346T, 486F	1	5	2	2	7
型判定が不能			9	9	7	7	4
合計			10	16	13	14	19

型判定不能はウイルスのコピー数が少ないために変異株解析用 PCR 産物が得られなかった検体

#### 【まとめ】

2023年1月はPCR新規陽性者数がわずかに増加したが、下旬にかけて減少傾向を示した。これまで主流であった BA.5 の比率が漸減し、BA.5 亜系統 (BF.7 など) や BA.2 亜系統 (BA.2.75 など) が

増加しつつある。

**【解説】**

第1～25報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニングPCRの2023年1月27日までの結果を報告する。当院では新型コロナウイルス定量PCR検査で陽性が判明した全患者（入院、外来とも）に対して、PCR産物の解離曲線分析法などを用いた変異株スクリーニングを実施している。新たに出現したBF.7やBQ.1などのBA.5亜系統や、BA2.75やXBB.1などのBA.2亜系統を検出するために、12月下旬からR346T変異の解析を追加した。BA2.75とXBB.1を区別するため、F486S/V変異の解析を1月末から加えた。

1月はPCR新規陽性者数がわずかに増加したが、下旬にかけて減少傾向を示した。これまで主流であったBA.5の比率が漸減し、BA.5亜系統やBA.2亜系統が増加しつつある。

当院の変異株スクリーニングPCRの結果の累計（2月3日判明分まで）

	従来型	R.1株	α株	δ株	ο株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	3	25
3-5月	11	31	86	1	0	19	148
6-9月	0	0	42	188	0	13	243
10-12月	0	0	0	9	1	3	13
2022年1-3月	0	0	0	4	416	32	452
4-6月	0	0	0	0	196	25	221
7-9月	0	0	0	0	503	42	510
10月	0	0	0	0	37	10	47
11月	0	0	0	0	74	17	91
12月	0	0	0	0	145	22	157
2023年1月	0	0	0	0	113	61	174
2月(3日まで)	0	0	0	0	10	4	14
合計	31	33	128	202	1,495	251	2,137

「型判定不能」は検体中のウイルス量がごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。

変異株スクリーニングPCR（1/4-1/27実施）

変異株	型	亜系統	変異パターン	1/23-27	1/16-20	1/10-13	1/4-6
オミクロン	BA.1		L452、371L、R346	0	0	0	0
	BA.2	BA.2	L452、371F、R346	0	0	0	0
		BA2.75/XBB.1等	L452、371F、346T	2	1	4	1
		他の亜系統	452Q/M、371F、R346	0	0	0	0
	BA.4/5	BA.4/5	452R、371F、R346	7	7	12	8
BF.7/BQ.1等		452R、371F、346T	9	17	15	14	
オミクロン以外			S371	0	0	0	0
型判定が不能				16	16	14	13
合計				34	41	45	36

変異株スクリーニングPCR（1/30-2/3実施）

変異株	型	変異パターン	1/30-2/3
	BA.1/2	452L、346R、486F	0

オミクロン	BA.2.75	452L, 346T, 486F	6
	XBB.1	452L, 346T, 486S	0
	XBB.1.5	452L, 346T, 486V	0
	BA.4/5	452R, 346R, 486F	2
	BF.7/BQ.1 等	452R, 346T, 486F	7
型判定が不能			4
合計			19

第 25 報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス変異株 PCR 検査 2023.1.4

東京医科歯科大学病院 検査部

【まとめ】

2022 年 12 月は PCR 新規陽性者数が増加した。BA.5 が主体ではあるが、BA.5 亜系統や BA.2 亜系統が増加しつつある。

【解説】

第 1～24 報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニング PCR の 2023 年 1 月 2 日までの結果を報告する。当院では新型コロナウイルス定量 PCR 検査で陽性が判明した全患者（入院、外来とも）に対して、PCR 産物の解離曲線分析法などを用いた変異株スクリーニングを実施している。新たに出現した BF.7 や BQ.1 などの BA.5 亜系統や、BA.2.75 や XBB.1 などの BA.2 亜系統を検出するために、12 月下旬から R346T 変異の解析を追加した。

12 月は PCR 新規陽性者数の増加傾向が進んだ。BA.5 が主体ではあるがその比率は減少し、BA.5 亜系統や BA.2 亜系統が増加しつつある。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計 (1 月 2 日判明分まで)

	従来型	R.1 株	α 株	β 株、γ 株	δ 株	ο 株	型判定不能	計
2021 年 2 月	20	2	0	0	0	0	3	25
3 - 5 月	11	31	86	0	1	0	19	148
6 - 9 月	0	0	42	0	188	0	13	243
10 - 12 月	0	0	0	0	9	1	3	13
2022 年 1 - 3 月	0	0	0	0	4	416	32	452
4 - 6 月	0	0	0	0	0	196	25	221
7 月	0	0	0	0	0	242	18	228
8 月	0	0	0	0	0	194	13	207
9 月	0	0	0	0	0	67	11	75
10 月	0	0	0	0	0	37	10	47
11 月	0	0	0	0	0	74	17	91
12 月	0	0	0	0	0	145	22	157
合計	31	33	128	0	202	1,372	186	1,949

「型判定不能」は検体中のウイルス量のごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。

変異株スクリーニング PCR

変異株	型	亜系統	変異パターン	12/26-28	12/19-23	12/12-16	12/5-9
	BA.1		L452、371L、R346	0	0	0	0
		BA.2	L452、371F、R346	0	2	11	0

オミクロン	BA.2	BA2.75/XBB.1 等	L452、371F、346T	3	2		
		他の亜系統	452Q/M、371F、R346	0	0	0	0
	BA.4/5	BA.4/5	452R、371F、R346	17	24	20	29
		BF.7/BQ.1 等	452R、371F、346T	13	12		
オミクロン以外			S371	0	0	0	0
型判定が不能				7	8	6	1
合計				40	48	37	30

第 24 報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス変異株 PCR 検査

2022.12.10

東京医科歯科大学病院 検査部

【まとめ】

11 月は PCR 新規陽性者数が増加し、そのほとんどが BA.5 もしくはその亜系統株であった。

【解説】

第 1～23 報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニング PCR の 11 月 30 日までの結果を報告する。当院では新型コロナウイルス定量 PCR 検査で陽性が判明した全例（入院、外来とも）に対して、PCR 産物の解離曲線分析法を用いた変異株スクリーニングを実施している。11 月は PCR 新規陽性者数が増加傾向であり、そのほとんどが BA.5、もしくは BA.4、もしくはそれらの亜系統株だった。BQ1.1 などの BA.5 の亜系統株を区別する検査法は準備中である。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計 (11 月 30 日判明分まで)

	従来型	R.1 株	$\alpha$ 株	$\beta$ 株、 $\gamma$ 株	$\delta$ 株	$\omicron$ 株	型判定不能	計
2021 年 2 月	20	2	0	0	0	0	3	25
3-5 月	11	31	86	0	1	0	19	148
6-9 月	0	0	42	0	188	0	13	243
10-12 月	0	0	0	0	9	1	3	13
2022 年 1-3 月	0	0	0	0	4	416	32	452
4-6 月	0	0	0	0	0	196	25	221
7 月	0	0	0	0	0	242	18	228
8 月	0	0	0	0	0	194	13	207
9 月	0	0	0	0	0	67	11	75
10 月	0	0	0	0	0	37	10	47
11 月	0	0	0	0	0	74	17	91
合計	31	33	128	0	202	1,227	164	1,782

「型判定不能」は検体中のウイルス量がごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。

変異株スクリーニング PCR (11/28-12/2 実施)

変異株の型	実施日	11/28-12/2	11/21-24	11/14-18	11/7-11	
オミクロン	BA.1	371L/373P	0	0	0	0
	BA.2 系	371F/373P、452 変異なし	1	1	1	1
		BA2.12.1 疑(L452Q)	0	0	0	0
		L452M を有する BA.2	0	0	0	0

	BA.4/5 系	371F/373P, L452R, F486V	28	14	23	11
オミクロン以外の株		S371/S373	0	0	0	0
型の判定が不能			2	6	6	2
合計			31	21	30	14

第 23 報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス変異株 PCR 検査

2022.11.2

東京医科歯科大学病院 検査部

【まとめ】

10 月は PCR 新規陽性者数が減少し、そのほぼ全てが BA.5 だった。10 月最終週は新規陽性者数が増加した。

【解説】

第 1～22 報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニング PCR の 10 月 31 日までの結果を報告する。当院では新型コロナウイルス定量 PCR 検査で陽性が判明した全例（入院、外来とも）に対して、PCR 産物の解離曲線分析法を用いた変異株スクリーニングを実施している。10 月は PCR 新規陽性者数が減少傾向であり、そのほぼ全てが BA.5 だった。10 月最終週は新規陽性者数が増加した。

なお、当院での 8 月までの変異株の推移やウイルス量の解析結果を medRxiv に掲載した。

<https://medrxiv.org/cgi/content/short/2022.10.25.22281427v1>

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計（10 月 31 日判明分まで）

	従来型	R.1 株	α 株	β 株、γ 株	δ 株	ο 株	型判定不能	計
2021 年 2 月	20	2	0	0	0	0	3	25
3 - 5 月	11	31	86	0	1	0	19	148
6 - 9 月	0	0	42	0	188	0	13	243
10 - 12 月	0	0	0	0	9	1	3	13
2022 年 1 - 3 月	0	0	0	0	4	416	32	452
4 月	0	0	0	0	0	102	12	114
5 月	0	0	0	0	0	60	8	68
6 月	0	0	0	0	0	34	5	39
7 月	0	0	0	0	0	242	18	228
8 月	0	0	0	0	0	194	13	207
9 月	0	0	0	0	0	67	11	75
10 月	0	0	0	0	0	36	10	47
合計	31	33	128	0	202	1,153	147	1,691

「型判定不能」は検体中のウイルス量がごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。

当院での直近 4 週での変異株スクリーニング PCR の結果

変異株の型	実施日	10/24-28	10/17-21	10/11-14	10/3-7
オミクロン	BA.1	371L/373P	0	0	0
	BA.2 系	371F/373P, 452 変異なし	0	0	0
		BA2.12.1 疑(L452Q)	0	0	0
		L452M を有する BA.2	0	0	0

	BA.4/5 系	371F/373P, L452R, F486V	15	4	3	9
オミクロン以外の株		S371/S373	0	0	0	0
型の判定が不能			1	6	1	1
合計			16	10	4	10

東京医科歯科大学病院 検査部

【まとめ】

9 月は PCR 新規陽性者数が減少し、そのほぼ全てが BA.5 だった。

【解説】

第 1～21 報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニング PCR の 9 月 30 日までの結果を報告する。当院では新型コロナウイルス定量 PCR 検査で陽性が判明した全例（入院、外来とも）に対して、PCR 産物の解離曲線分析法を用いた変異株スクリーニングを実施している。9 月は PCR 新規陽性者数が減少傾向となり、そのほぼ全てが BA.5 だった。BA.2.75 は当院では確認されていない。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計

	従来型	R.1 株	α 株	β 株、γ 株	δ 株	ο 株	型判定不能	計
2021 年 2 月	20	2	0	0	0	0	3	25
3 - 5 月	11	31	86	0	1	0	19	148
6 - 9 月	0	0	42	0	188	0	13	243
10 - 12 月	0	0	0	0	9	1	3	13
2022 年 1 - 3 月	0	0	0	0	4	416	32	452
4 月	0	0	0	0	0	102	12	114
5 月	0	0	0	0	0	60	8	68
6 月	0	0	0	0	0	34	5	39
7 月	0	0	0	0	0	242	18	228
8 月	0	0	0	0	0	194	13	207
9 月	0	0	0	0	0	67	11	75
合計	31	33	128	0	202	1,116	137	1,644

「型判定不能」は検体中のウイルス量のごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。

変異株スクリーニング PCR

変異株の型		実施日	9/26-30	9/20-22	9/12-16	9/5-9
オミクロン	BA.1	371L/373P	0	0	0	0
	BA.2	371F/373P, 452 変異なし	0	0	0	0
		BA.2.12.1 疑(L452Q)	0	0	0	0
		L452M を有する BA.2	0	0	0	0
BA.4/5	371F/373P, L452R, F486V	13	10	18	20	
オミクロン以外の株	S371/S373	0	0	0	0	
型の判定が不能		3	1	1	5	

合計	13	11	19	25
----	----	----	----	----

【まとめ】

7月にはオミクロン株 BA.5 系統が急増し、7月最終週には、ほとんど全てが BA.5 となり、8月もこの傾向が続いたが、下旬には PCR 新規陽性者数は減少傾向となった。

【解説】

第 1～20 報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニング PCR の 9 月 2 日までの結果を報告する。当院では新型コロナウイルス定量 PCR 検査で陽性が判明した全例（入院、外来とも）に対して、PCR 産物の解離曲線分析法を用いた変異株スクリーニングを実施している。7 月に入り BA.5（または BA.4：上記の PCR だけでは両者は区別できない）が急増し、7 月最終週には、ほとんど全てが BA.5（または BA.4）になった。この傾向は 8 月も続いたが、下旬には PCR 新規陽性者数が減少傾向となった。BA2.75 は当院ではまだ確認されていない。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計 (9 月 2 日判明分まで)

	従来型	R.1 株	α 株	β 株、γ 株	δ 株	ο 株	型判定不能	計
2021 年 2 月	20	2	0	0	0	0	3	25
3-5 月	11	31	86	0	1	0	19	148
6-9 月	0	0	42	0	188	0	13	243
10-12 月	0	0	0	0	9	1	3	13
2022 年 1-3 月	0	0	0	0	4	416	32	452
4 月	0	0	0	0	0	102	12	114
5 月	0	0	0	0	0	60	8	68
6 月	0	0	0	0	0	34	5	39
7 月	0	0	0	0	0	242	18	228
8 月	0	0	0	0	0	194	13	207
9 月(2 日まで)	0	0	0	0	0	6	1	7
合計	31	33	128	0	202	1,055	129	1,576

「型判定不能」は検体中のウイルス量のごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。

変異株スクリーニング PCR の推移

変異株の型		実施日	8/29-9/2	8/22-26	8/15-19	8/8-12
オミクロン	BA.1	371L/373P	0	0	0	0
	BA.2	371F/373P, 452 変異なし	0	0	2	1
		BA2.12.1 疑(L452Q)	1	0	0	0
		L452M を有する BA.2	0	0	0	0
BA.4/5	371F/373P, L452R, F486V	23	29	47	37	
オミクロン以外の株		S371/S373	0	0	0	0
型の判定が不能			1	3	3	0
合計			25	32	52	38

## 【まとめ】

PCR 新規陽性者数は2月をピークとして減少していたが、6月下旬より増加に転じ、7月はオミクロン株 BA.5 系統が急増し、7月最終週には、ほとんど全てが BA.5 となった。

## 【解説】

第1～19報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニング PCR の7月末までの結果を報告する。当院では新型コロナウイルス定量 PCR 検査で陽性が判明した全例（入院、外来とも）に対して、PCR 産物の解離曲線分析法を用いた変異株スクリーニングを実施している。PCR 新規陽性者数は2月をピークとして減少していたが、6月下旬より増加に転じた。7月に入り BA.5（または BA.4：上記の PCR だけでは両者は区別できない）が急増し、7月最終週には、ほとんど全てが BA.5（または BA.4）になった。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計 (7月29日判明分まで)

	従来型	R.1株	α株	β株、γ株	δ株	ο株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	0	3	25
3-5月	11	31	86	0	1	0	19	148
6-9月	0	0	42	0	188	0	13	243
10-12月	0	0	0	0	9	1	3	13
2022年1月	0	0	0	0	4	96	3	103
2月	0	0	0	0	0	207	15	222
3月	0	0	0	0	0	113	14	127
4月	0	0	0	0	0	102	12	114
5月	0	0	0	0	0	60	8	68
6月	0	0	0	0	0	34	5	39
7月(29日まで)	0	0	0	0	0	242	18	228
合計	31	33	128	0	202	855	115	1,362

「型判定不能」は検体中のウイルス量がごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。

変異株スクリーニング PCR (7/4～29実施分)

変異株の型		実施日	7/25-29	7/19-22	7/11-15	7/4-8
オミクロン	BA.1	371L/373P	0	0	0	0
	BA.2	元の型 (371F/373P, L452)	5	3	4	4
		BA.2.12.1 疑(L452Q)	0	0	1	0
		L452Mを有する BA.2	0	0	2	14
BA.4/5	371F/373P, L452R, F486V	100	59	27	13	
オミクロン以外の株		S371/S373	0	0	0	0
型の判定が不能			12	1	3	1
合計			117	63	37	32

【まとめ】

PCR 新規陽性者数は2月をピークとして減少していたが、6月下旬より増加に転じた。変異の型が判明した6月の検体全てがオミクロン株で、6月中旬以降、BA.5 や BA2.12.1 が検出され始めた。

【解説】

第1～18報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニング PCR の6月末までの結果を報告する。当院では新型コロナウイルス定量 PCR 検査で陽性が判明した全例（入院、外来とも）に対して、PCR 産物の解離曲線分析法を用いた変異株スクリーニング（N501Y, E484K/E484Q, L452R, S371L/S373P, E484A）を実施している。また、スパイク蛋白 371 変異が、S371L か S371F かによって、BA.1 系統(BA1.1 を含む)か BA.2 かを区別している。これらにより、L452Q を持つ BA2.12.1 や、L452R を有し、F486V に起因する 484 プローブの解離曲線の異常を呈する BA.4/5 も検出できる。両者は PCR 変異株解析では区別できないため、NGS 解析で確認している。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計 (7月1日判明分まで)

	従来型	R.1 株	α 株	β 株、γ 株	δ 株	ο 株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	0	3	25
3-5月	11	31	86	0	1	0	19	148
6-9月	0	0	42	0	188	0	13	243
10-12月	0	0	0	0	9	1	3	13
2022年1月	0	0	0	0	4	96	3	103
2月	0	0	0	0	0	207	15	222
3月	0	0	0	0	0	113	14	127
4月	0	0	0	0	0	102	12	114
5月	0	0	0	0	0	60	8	68
6月	0	0	0	0	0	34	5	39
7月(1日まで)	0	0	0	0	0	10	1	11
合計	31	33	128	0	202	623	96	1,113

「型判定不能」は検体中のウイルス量がごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。

変異株スクリーニング PCR (6/27 - 7/1 実施)

変異株の型		変異パターン	6/27-7/1	6/20-24	6/13-17	6/6-10
オミクロン	BA.1	371L/373P	0	0	1	0
	BA.2	元の型 (371F/373P, L452)	9	5	9	7
		BA2.12.1 疑(L452Q)	2	0	1	0
		L452M を有する BA.2	2	0	0	0
BA.4/5	371F/373P, L452R, F486V	3	1	1	0	
オミクロン以外		S371/S373	0	0	0	0

型の判定が不能	4	0	2	1
合計	20	6	14	8

東京医科歯科大学病院 検査部

【まとめ】

PCR 新規陽性者数は 2 月をピークとして減少し、5 月は 4 月の 6 割に減少した。変異株の型が判明した検体全てがオミクロン株で、そのほぼ全てが BA.2 だった。452 変異を伴う BA.2 が 4 例、検出された。

【解説】

第 1～17 報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニング PCR の 5 月末までの結果を報告する。当院では新型コロナウイルス定量 PCR 検査で陽性が判明した全例（入院、外来とも）に対して、PCR 産物の解離曲線分析法を用いた変異株スクリーニング（N501Y, E484K/E484Q, L452R, S371L/S373P, E484A）を実施している。また、スパイク蛋白 371 変異が、S371L か S371F かによって、BA.1 系統(BA.1.1 を含む)か BA.2 かを区別している。また、452 が L でも R でもない、新たな 452 変異を有するオミクロン株も検出できる。

PCR 新規陽性者数は 2 月をピークとして減少し、5 月は 4 月の 6 割に減少した。5 月は、変異株の型が判明した検体全てがオミクロン株で、そのほぼ全てが BA.2 であった。4 月上旬に 452 変異を有する BA.2 株が検出されたが、5 月上旬にもこのパターンの株が検出された。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計

	従来型	R.1 株	α 株	β 株、γ 株	δ 株	ο 株	型判定不能	計
2021 年 2 月	20	2	0	0	0	0	3	25
3 月	4	11	1	0	0	0	8	24
4 月	6	16	29	0	0	0	8	59
5 月	1	4	56	0	1	0	3	65
6 月	0	0	11	0	2	0	1	14
7 月	0	0	22	0	24	0	2	48
8 月	0	0	8	0	92	0	6	106
9 月	0	0	1	0	70	0	4	75
10 月	0	0	0	0	8	0	0	8
11 月	0	0	0	0	1	0	3	4
12 月	0	0	0	0	0	1	0	1
2022 年 1 月	0	0	0	0	4	96	3	103
2 月	0	0	0	0	0	207	15	222
3 月	0	0	0	0	0	113	14	127
4 月	0	0	0	0	0	102	12	114
5 月	0	0	0	0	0	60	8	68
合計	31	33	128	0	202	579	90	1,063

「型判定不能」は検体中のウイルス量がごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変

異型を意味するものではない。

東京医科歯科大学病院 検査部

【まとめ】

PCR 新規陽性者数は 2 月をピークとして 3 月は 2 月の 6 割に減少したが、4 月は 3 月の 9 割と減少が鈍化した。変異株の型が判明した検体全てがオミクロン株で、BA.2 が占める割合は、3 月の 35% から 4 月は 85% と増加し、BA.1 から BA.2 へ置き換わった。

【解説】

第 1～16 報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニング PCR の 4 月末までの結果を報告する。当院では新型コロナウイルス定量 PCR 検査で陽性が判明した全例（入院、外来とも）に対して、PCR 産物の解離曲線分析法を用いた変異株スクリーニング

(N501Y, E484K/E484Q, L452R, S371L/S373P, E484A) を実施している。また、スパイク蛋白 371 変異が、S371L か S371F かによって、BA.1 系統(BA1.1 を含む)か BA.2 かを区別している。

PCR 新規陽性者数は 2 月をピークとして 3 月は 2 月の 6 割に減少したが、4 月は 3 月の 9 割と減少が鈍化した。変異株の型が判明した検体全てがオミクロン株で、BA.2 が占める割合は、3 月の 35% から 4 月は 85% と増加し、BA.1 から BA.2 へ置き換わった。4 月上旬に入院した患者から 452 変異を有する BA.2 株が検出されたが、それ以降、このパターンの株は検出されていない。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計

	従来型	R.1 株	$\alpha$ 株	$\beta$ 株、 $\gamma$ 株	$\delta$ 株	$\omicron$ 株	型判定不能	計
2021 年 2 月	20	2	0	0	0	0	3	25
3 月	4	11	1	0	0	0	8	24
4 月	6	16	29	0	0	0	8	59
5 月	1	4	56	0	1	0	3	65
6 月	0	0	11	0	2	0	1	14
7 月	0	0	22	0	24	0	2	48
8 月	0	0	8	0	92	0	6	106
9 月	0	0	1	0	70	0	4	75
10 月	0	0	0	0	8	0	0	8
11 月	0	0	0	0	1	0	3	4
12 月	0	0	0	0	0	1	0	1
2022 年 1 月	0	0	0	0	4	96	3	103
2 月	0	0	0	0	0	207	15	222
3 月	0	0	0	0	0	113	14	127
4 月	0	0	0	0	0	102	12	114
合計	31	33	128	0	202	521	82	995

「型判定不能」は検体中のウイルス量がごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。

東京医科歯科大学病院 検査部

## 【まとめ】

3月 は PCR 新規陽性者数が2月の6割に減少した。変異株の型が判明した検体全てがオミクロン株で、BA.2 が35%を占め、BA.1 から BA.2 への置き換わりが起き始めた。

## 【解説】

第1～15報(下記)に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニング PCR の3月31日までの結果を報告する。当院では新型コロナウイルス定量 PCR 検査で陽性が判明した全例(入院、外来とも)に対して、PCR産物の解離曲線分析法を用いた変異株スクリーニング(N501Y, E484K/E484Q, L452R, S371L/S373P, E484A)を実施している。また、スパイク蛋白371変異が、S371LかS371Fかによって、BA.1系統(BA.1.1を含む)かBA.2かを区別している。

3月 は PCR 新規陽性者数が2月の6割に減少し、変異株の型が判明した検体全てがオミクロン株であった。オミクロン株のうちBA.2の占める割合は2月は6%であったが、3月は35%に増加し、BA.1からBA.2への置き換わりが起き始めた。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計

	従来型	R.1株	$\alpha$ 株	$\beta$ 株、 $\gamma$ 株	$\delta$ 株	$\omicron$ 株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	0	3	25
3月	4	11	1	0	0	0	8	24
4月	6	16	29	0	0	0	8	59
5月	1	4	56	0	1	0	3	65
6月	0	0	11	0	2	0	1	14
7月	0	0	22	0	24	0	2	48
8月	0	0	8	0	92	0	6	106
9月	0	0	1	0	70	0	4	75
10月	0	0	0	0	8	0	0	8
11月	0	0	0	0	1	0	3	4
12月	0	0	0	0	0	1	0	1
2022年1月	0	0	0	0	4	96	3	103
2月	0	0	0	0	0	207	15	222
3月	0	0	0	0	0	113	14	127
合計	31	33	128	0	202	417	70	881

「型判定不能」は検体中のウイルス量がごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。

東京医科歯科大学病院 検査部

## 【まとめ】

・2月はPCR新規陽性者が1月より倍増した。変異株の型が判明した207検体全てがオミクロン株であった。うち13検体がBA.2であった。

**【解説】**

第1～14報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニングPCRの2月28日までの結果を報告する。当院では新型コロナウイルス定量PCR検査で陽性が判明した全例（入院、外来とも）に対して、PCR産物の解離曲線分析法を用いた変異株スクリーニング（N501Y, E484K/E484Q, L452R, S371L/S373P, E484A）を実施している。また、スパイク蛋白371変異が、S371LかS371Fかによって、BA.1系統(BA1.1を含む)かBA.2かを区別している。

2月はPCR新規陽性者が1月より倍増し、変異株の型が判明した207検体全てがオミクロン株であり、うち13検体がBA.2であった。BA.2への急速な置き換えは現時点では生じていない。

当院の変異株スクリーニングPCRの結果の累計

	従来型	R.1株	α株	β株、γ株	δ株	ο株	型判定不能	計
2021年2月	20	2	0	0	0	0	3	25
3月	4	11	1	0	0	0	8	24
4月	6	16	29	0	0	0	8	59
5月	1	4	56	0	1	0	3	65
6月	0	0	11	0	2	0	1	14
7月	0	0	22	0	24	0	2	48
8月	0	0	8	0	92	0	6	106
9月	0	0	1	0	70	0	4	75
10月	0	0	0	0	8	0	0	8
11月	0	0	0	0	1	0	3	4
12月	0	0	0	0	0	1	0	1
2022年1月	0	0	0	0	4	96	3	103
2月	0	0	0	0	0	207	15	222
合計	31	33	128	0	202	304	56	754

オミクロン株304例のうち、BA.1(S371L)が301例、BA.2(S371F)が14例

「型判定不能」は検体中のウイルス量がごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。

**【まとめ】**

・1月はPCR陽性者が急増し、9割以上がオミクロン株であった。1月中旬には市中感染のオミクロン株のBA.2系統株も1例が検出された。

**【解説】**

第1～13報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニングPCRの1月31日までの結果を報告する。当院では新型コロナウイルス定量PCR検査で陽性が判明した全例（入院、外来とも）に対して、PCR産物の解離曲線分析法を用いた変異株スクリーニング（N501Y, E484K/E484Q, L452R, S371L/S373P, E484A）を実施している。

1月はPCR陽性者が急激に増加し、その93%がオミクロン株であった。デルタ株も4件検出され

た。1月中旬にはオミクロン株の BA.2 系統株が、海外渡航とは関係のない市中感染の1名から検出された。他は全て BA.1 系統株であった。

**【オミクロン株の BA.1 と BA.2 の区別】**

オミクロン株の BA.1 と BA.2 の区別は、厳密にはゲノム解析が必要であるが、S371L/S373P プローブ (TIB MOLBIOL 社) を用いた解離曲線分析法によって、下表のように簡便に区別できる。

変異株	オミクロン株		デルタ株など
	BA.1	BA.2	
アミノ酸	371L/373P	371F/373P	S371/S373
解離温度	62 °C	53.5 °C	45 °C

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計

	従来型	R.1 株	α 株	β 株、γ 株	δ 株	ο 株	型判定不能	計
2021 年 2 月	20	2	0	0	0	0	3	25
3 月	4	11	1	0	0	0	8	24
4 月	6	16	29	0	0	0	8	59
5 月	1	4	56	0	1	0	3	65
6 月	0	0	11	0	2	0	1	14
7 月	0	0	22	0	24	0	2	48
8 月	0	0	8	0	92	0	6	106
9 月	0	0	1	0	70	0	4	75
10 月	0	0	0	0	8	0	0	8
11 月	0	0	0	0	1	0	3	4
12 月	0	0	0	0	0	1	0	1
2022 年 1 月	0	0	0	0	4	96	3	103
合計	31	33	128	0	202	97	41	532

「型判定不能」は検体中のウイルス量がごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。

**【まとめ】**

・12月は連日、PCR 陽性者数ゼロが持続したが、最終日に陽性者（オミクロン株）が1名、検出された。

**【解説】**

第1～12報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニング PCR の12月31日までの結果を報告する。当院では新型コロナウイルス定量 PCR 検査で陽性が判明した全例（入院、外来とも）に対して、解離曲線分析法を用いた PCR による変異株スクリーニング (N501Y, E484K/E484Q, L452R) を実施している。12月からはオミクロン株を識別するため、S371L/S373P, E484A 用のプライマー/プローブも追加した。12月は連日、PCR 陽性者ゼロが持続したが、最終日に陽性者（オミクロン株）が1名、検出された。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計

	従来型	R.1 株	$\alpha$ 株	$\beta$ 株、 $\gamma$ 株	$\delta$ 株	$\omicron$ 株	型判定不能	計
2021 年 2 月	20	2	0	0	0	0	3	25
3 月	4	11	1	0	0	0	8	24
4 月	6	16	29	0	0	0	8	59
5 月	1	4	56	0	1	0	3	65
6 月	0	0	11	0	2	0	1	14
7 月	0	0	22	0	24	0	2	48
8 月	0	0	8	0	92	0	6	106
9 月	0	0	1	0	70	0	4	75
10 月	0	0	0	0	8	0	0	8
11 月	0	0	0	0	1	0	3	4
12 月	0	0	0	0	0	1	0	1
合計	31	33	128	0	198	1	38	429

「型判定不能」は検体中のウイルス量がごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。

【2021 年の新型コロナウイルス変異株 PCR 検査の総括】

2021 年 3 月、神戸でアルファ株（当時の呼称はイギリス株）の急増が報じられた。東京には変異株はないとされていたが、都は一部の検体の抜き取り調査しか実施していなかったため、ないのではなく、見逃されているだけではないかという疑いがあった。そこで当院検査部では、PCR 陽性となった全例の変異株スクリーニングを解離曲線分析法で開始した。その結果、3 月はアルファ株は確かに 31 日に検出した 1 件だけだったが、驚いたことに E484K という免疫逃避型変異をもつ変異株（R.1 株）が約半数を占めることを見出し、この情報を発信した（詳細は J Med Virol 93;6833,2021 を参照）。7～9 月にはデルタ株が日本中で爆発的に蔓延したが、当院ではすでに 5 月上旬に海外渡航歴のない入院患者からデルタ株を検出した（J Med Virol.doi: 10.1002/jmv.27479）。10 月以降、PCR 陽性者は急激に減少した。12 月末にはオミクロン株が検出された。

第 12 報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス変異株 PCR 検査

2021.12.1

東京医科歯科大学病院 検査部

【まとめ】

- ・ 11 月は PCR 陽性者数が激減した。

【解説】

第 1～11 報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニング PCR の 11 月 30 日までの結果を報告する。当院では新型コロナウイルス定量 PCR 検査で陽性が判明した全例（入院、外来とも）に対して、変異株スクリーニング PCR（N501Y, E484K, E484Q, L452R）を実施している。

11 月は PCR 陽性検体が激減した。陽性者は全て、以前に他施設などで感染を確認されたことのある方だった。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計 11 月 30 日判明分まで

	従来型	R.1 株	$\alpha$ 株	$\beta$ 株、 $\gamma$ 株	$\delta$ 株	型判定不能	計
--	-----	-------	------------	-----------------------	------------	-------	---

2月	20	2	0	0	0	3	25
3月	4	11	1	0	0	8	24
4月	6	16	29	0	0	8	59
5月	1	4	56	0	1	3	65
6月	0	0	11	0	2	1	14
7月	0	0	22	0	24	2	48
8月	0	0	8	0	92	6	106
9月	0	0	1	0	70	4	75
10月	0	0	0	0	8	0	8
11月	0	0	0	0	1	3	4
合計	31	33	128	0	198	38	428

「型判定不能」は検体中のウイルス量がごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。

第 11 報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス変異株 PCR 検査

2021.11.1

東京医科歯科大学病院 検査部

【まとめ】

- ・ 10 月は新たな PCR 陽性者数が激減した。
- ・ 10 月は全てがデルタ株であった。

【解説】

第 1～10 報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニング PCR の 10 月 31 日までの結果を報告する。当院では新型コロナウイルス定量 PCR 検査で陽性が判明した全例（入院、外来とも）に対して、変異株スクリーニング PCR（N501Y, E484K, E484Q, L452R）を実施している。

10 月は PCR 新規陽性数が激減した。10 月は全例がデルタ株であった。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計

10 月 31 日判明分まで

	従来型	R.1 株	α 株	β 株、γ 株	δ 株	型判定不能	計
2月	20	2	0	0	0	3	25
3月	4	11	1	0	0	8	24
4月	6	16	29	0	0	8	59
5月	1	4	56	0	1	3	65
6月	0	0	11	0	2	1	14
7月	0	0	22	0	24	2	48
8月	0	0	8	0	92	6	106
9月	0	0	1	0	70	4	75
10月	0	0	0	0	8	0	8
合計	31	33	128	0	197	35	424

東京医科歯科大学病院 検査部

## 【まとめ】

- ・ 9 月は新たな PCR 陽性者数が 8 月より減少した。
- ・ 変異株の型が判明した検体は、1 例を除いて全てがデルタ株であった。

## 【解説】

第 1～9 報(下記)に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニング PCR の 9 月 30 日までの結果を報告する。当院では新型コロナウイルス定量 PCR 検査で陽性が判明した全例(入院、外来とも)に対して、変異株スクリーニング PCR (N501Y, E484K, E484Q, L452R) を実施している。

9 月は PCR 新規陽性数が 8 月より減少した。9 月はアルファ株が 1 例が検出されたが、それ以外は、8 月 17 日以降は全てがデルタ株であった。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計 9 月 30 日判明分まで

	従来型	R.1 株	$\alpha$ 株	$\beta$ 株、 $\gamma$ 株	$\delta$ 株	型判定不能	計
2 月	20	2	0	0	0	3	25
3 月	4	11	1	0	0	8	24
4 月	6	16	29	0	0	8	59
5 月	1	4	56	0	1	3	65
6 月	0	0	11	0	2	1	14
7 月	0	0	22	0	24	2	48
8 月	0	0	8	0	92	6	106
9 月	0	0	1	0	70	4	75
合計	31	33	128	0	189	35	416

R.1 株は E484K を、 $\alpha$  株は N501Y を、 $\delta$  株は L452R を有する。「型判定不能」は検体中のウイルス量がごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。当院は重症の患者さんに特化したコロナ診療をしているため、都内の無症状や軽症の患者さんの状況は反映されていない。なお、8 月までの検査結果の詳細を medRxiv にアップした。

<https://www.medrxiv.org/content/10.1101/2021.09.21.21263879v1>

東京医科歯科大学医学部附属病院検査部

## 【まとめ】

- ・ 8 月は新たな PCR 陽性者数が 7 月の倍以上になった。
- ・  $\delta$  株の比率が急増し、特に、8 月 17 日以降は全例が  $\delta$  株であった。
- ・ 452R だけでなく 501 にも変異を有する新たな  $\delta$  株を検出した。

## 【解説】

第 1～8 報(下記)に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニング PCR

の8月31日までの結果を報告する。当院では新型コロナウイルス定量PCR検査で陽性が判明した全例（入院、外来とも）に対して、変異株スクリーニングPCR（N501Y, E484K, E484Q, L452R）を実施している。

8月はPCR新規陽性数が7月の2倍以上になった。δ株の比率が急増し、8月17日以降は全例がδ株であった。中旬に陽性となったδ株例には、452R変異だけでなく、501にも501Yではない変異が検出された。後日、ゲノム解析により501S変異であることが判明したが、この変異の付加による感染力や重症化への影響は不明である。今後の監視が必要であり、α株は検出されなくなっても501変異の検査は継続していく。

当院の変異株スクリーニングPCRの結果の累計

8月31日判明分まで

	従来型	R.1株	α株	β株、γ株	δ株	型判定不能	計
2月	20	2	0	0	0	3	25
3月	4	11	1	0	0	8	24
4月	6	16	29	0	0	8	59
5月	1	4	56	0	1	3	65
6月	0	0	11	0	2	1	14
7月	0	0	22	0	24	2	48
8月	0	0	8	0	92	6	106
合計	31	33	127	0	119	31	341

R.1株はE484Kを、α株はN501Yを、δ株はL452Rを有する。「型判定不能」は検体中のウイルス量がごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな変異型を意味するものではない。

変異型のスクリーニングPCRは、東京都もサンプリングによって行なっているが、当院は全例で行なっているので、サンプリングによるバイアスはなく、リアルタイムに実態が把握できる。一方、当院は重症の患者さんに特化したコロナ診療をしているため、無症状や軽症の患者さんの状況は反映されていないという短所がある。

第8報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス変異株PCR検査

2021.8.2

東京医科歯科大学医学部附属病院検査部

**【まとめ】**

2021年7月は新規PCR陽性者数が増加に転じた。下旬からδ株が急増し、α株を上回った。

**【解説】**

第1～7報(下記)に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニングPCRの7月30日までの結果を報告する。当院では新型コロナウイルスPCR検査で陽性が判明した検体の全て（入院、外来とも）に対して、変異株スクリーニングPCR（N501Y, E484K, E484Q, L452R）を実施している。

7月はPCR新規陽性数が再び増加した。前半はα株11件、δ株3件とα株が優位であったが、後半はα株11件、δ株21件とδ株が急増した。δ株はα株よりもウイルス量（コピー数/μL）が多い傾向が認められた。

変異型の検査は、変異株の拡がりを検知する疫学調査としての意味だけでなく、各患者さんの重症化の予測や、患者間の異なる変異株の伝播の可能性の阻止に有用であると考えられる。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計

7月30日判明分まで

	従来型	R.1株	α株	β株、γ株	δ株	型判定不能	計
2月	20	2	0	0	0	3	25
3月	4	11	1	0	0	8	24
4月	6	16	29	0	0	8	59
5月	1	4	56	0	1	3	65
6月	0	0	11	0	2	1	14
7月	0	0	22	0	24	2	48
合計	31	33	119	0	27	25	235

「型判定不能」は検体中のウイルス量がごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな型を意味するものではない。

第7報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス変異株 PCR 検査

2021.7.1

東京医科歯科大学医学部附属病院検査部

【まとめ】

2021年6月は新規PCR陽性者数が減少した。PCR陽性例の8割弱をα株が占め、2例のδ株が検出された。

【解説】

第1～6報(下記)に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニングPCRの6月30日までの結果を報告する。当院では新型コロナウイルスPCR検査で陽性が判明した検体の全て(入院、外来とも)に対して、変異株スクリーニングPCR(N501Y, E484K, E484Q, L452R)を実施している。

6月はPCR新規陽性14例中11例がα株(N501Yあり、E484Kなし)であった。2月に多く見られた従来型と、3月と4月に多くみられたE484K単独変異株(R.1 lineage)はみられなかった。δ株(L452Rあり、E484Qなし:B.1.617.2)が6月下旬に2例検出され、今後の動向の監視が必要である。

変異型の検査は、変異株の拡がりを早期に検知する疫学調査としての意味だけでなく、各患者さんの重症化の予測や、患者間の異なる変異株の伝播の可能性の阻止に有用であると考えられる。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計

6月30日判明分まで

	従来型	R.1株	α株	β株、γ株	δ株	型判定不能	計
2月	20	2	0	0	0	3	25
3月	4	11	1	0	0	8	24
4月	6	16	29	0	0	8	59
5月	1	4	56	0	1	3	65
6月	0	0	11	0	2	1	14
合計	31	33	97	0	3	23	187

「型判定不能」は検体中のウイルス量がごく少なかったことによるものであり、特定されていない新たな型を意味するものではない。

東京医科歯科大学医学部附属病院検査部

## 【まとめ】

2021 年 5 月は英国型変異株が PCR 陽性例の 86%を占めた。

5 月上旬にインド型変異株 (B.1.617.2) が 1 例検出されたが、以降は検出されていない。

## 【解説】

第 1～5 報(下記)に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニング PCR の 5 月 31 日までの結果を報告する。当院では新型コロナウイルス PCR 検査で陽性が判明した検体の全て(入院、外来とも)に対して、変異株スクリーニング PCR (N501Y, E484K, E484Q, L452R) を実施している。

5 月は PCR 陽性 65 例中 56 例が英国型変異株(N501Y あり、E484K なし)であった。特に 5 月 12 日から 5 月 31 日の検体は全例が英国型であり、3 月と 4 月に多くみられた E484K 単独変異株(R.1 lineage)はみられなくなった。インド型変異株(L452R あり、E484Q なし : B.1.617.2)が 5 月上旬に 1 例検出されたが、以降は検出されていない。今後の動向の監視が必要である。

変異型の検査は、変異株の拡がりを早期に検知する疫学調査としての意味だけでなく、各患者さんの重症化の予測や、入院患者間や医療スタッフを介しての異なる変異株の伝播の阻止に有用であると考ええる。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計

5 月 31 日判明分まで

	従来型	484K 単独変異	英国型	南ア・ブラジル型	インド型	型判定不能	計
2 月	20	2	0	0	0	3	25
3 月	4	11	1	0	0	8	24
4 月	6	16	29	0	0	8	59
5 月	1	4	56	0	1	3	65
合計	31	33	86	0	1	22	173

「型判定不能」はウイルス量がごく少なかったことによるものであり、未特定の新たな型を意味するものではない。

東京医科歯科大学医学部附属病院検査部

## 【まとめ】

2021 年 5 月に入り、英国型変異株が約 8 割を占めている。インド型変異株 (B.1.617.2) も 1 例検出された。

## 【解説】

第 1～4 報(下記)に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニング PCR の 5 月 14 日までの結果を報告する。当院では新型コロナウイルス PCR 検査で陽性が判明した検体の全て(入院、外来とも)に対して、変異株スクリーニング PCR (N501Y, E484K, E484Q, L452R) を実施している。

5 月に入り、約 8 割がイギリス型変異株(N501Y あり+E484K なし)であった。インド型変異株

(L452Rあり+E484Qなし：B.1.617.2)も1例、初めて検出された。なお、L452R変異はVirSNIp SARS-CoV-2 Spike Y453Fキットを用いて検出し、NGSによる全ゲノム解析で確認された。インド型変異株もすでに市中に拡がり始めている可能性が示唆される。

変異型の検査は、変異株の拡がりを早期に検知する疫学調査としての意味だけでなく、各患者さんの予後予測や、入院患者間での異なる型のウイルスの伝播の阻止に有用である。

当院の変異株スクリーニングPCRの結果の累計

5月14日判明分まで

	従来型	R.1(484K 単独)	英国型	南ア・ブラジル型	インド型	型判定不能	計
2月	20	2	0	0	0	3	25
3月	4	11	1	0	0	8	24
4月	6	16	29	0	0	8	59
5月(14日まで)	1	4	27	0	1	1	34
合計	31	33	57	0	1	20	142

第4報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス変異株PCR検査 2021.5.1

**【まとめ】**2021年4月中旬以降は、当院でもイギリス型変異株（N501Y変異あり、E484K変異なし）が急速に増加した。E484K単独変異株（R.1系統株と考えられる免疫逃避型）と従来型（N501Y変異、E484K変異ともない欧州型）はごく少数になった。

**【解説】**

第1～3報(下記)に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニングPCRの4月30日までの結果を報告する。当院では、新型コロナウイルスPCR検査で陽性が判明した検体の全て（入院、外来とも）に対して、変異株スクリーニングPCRを実施している。

4月中旬以降は、COVID-19患者数が増加し、その大半がイギリス型変異株であった。東京でも大阪や神戸と同様にイギリス型がすでに主流となっている。4月下旬からはインド型変異株(L452R、E484Q)の国内流入が危惧されているが、2月1日から4月30日までの検体でE484Qを呈するものはなく、当院ではインド型変異株感染者はいないと推測される。なお、L452Rについては現時点で未実施であり、L452Rのみを有する株の有無は不明である。今後、この解析を追加する予定である。

当院の変異株スクリーニングPCRの結果の累計

4月30日判明分まで

	従来型	484K 単独変異	英国型	南ア・ブラジル型	インド型 (484Q)	型判定不能	計
2月	20	2	0	0	0	3	25
3月	4	11	1	0	0	8	24
4月	6	16	29	0	0	8	59
合計	30	29	30	0	0	19	108

インド型は484Q波形の有無のみをチェック（L452Rは未実施）

第3報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス変異株PCR検査 2021.4.22

【ポイント】2021年4月に入り、特に中旬以降は、当院でもイギリス型変異株（N501Y 変異あり、E484K 変異なし）が急速に増加した。E484K 単独変異株（R.1 系統株と考えられる免疫逃避型）は、依然としてみられるが、従来型（N501Y 変異、E484K 変異ともにない欧州型）はごく少数である。

#### 【概要】

第1報、第2報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニング PCR の4月21日までの結果を報告する。当院では、新型コロナウイルス PCR 検査で陽性が判明した検体の全て（入院、外来とも）に対して、変異株スクリーニング PCR を実施している。

4月中旬以降はイギリス型変異株が急増し、直近1週間（15日から22日までの判明分）に限れば、イギリス型11件、484単独変異3件、従来型0件と、イギリス型が約8割を占め、東京でも大阪や神戸と同様にイギリス型がすでに主流となった可能性が示唆される。

当院の変異株スクリーニング PCR の結果の累計 4月22日判明分まで

	イギリス型	南ア・ブラジル型	E484K 単独変異	従来型	型判定不能
2月	0	0	2	20	3
3月	1	0	11	4	8
4月(22日まで)	13	0	15	5	6
合計	14	0	28	29	17

(検体採取日を基準とした)

#### 【提言】

イギリス型変異株は感染力が強いため、感染対策の遵守（3密を避け、マスク着用と手洗いを、公共の場での不要な会話を控える）が必要である。ワクチンの有効性は、イギリス型変異株に対しても従来型とほぼ同等にあることが報告されているので、接種の機会があれば、受けることが望まれる。

東京医科歯科大学医学部附属病院検査部

---

### 第2報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス変異株 PCR 検査 (2021.4.12)

【ポイント】2021年4月に入り、当院でもイギリス型変異株（N501Y 変異あり、E484K 変異なし）が検出され始めた。一方、3月と同様に、主流は E484K 単独変異（免疫逃避型）であり、従来型（N501Y 変異なし、E484K 変異なし）の比率は少ない。

#### 【概要】

第1報（下記）に続き、当院検査部で実施している新型コロナウイルス変異株スクリーニング PCR の4月12日までの結果を報告する。当院では、新型コロナウイルス PCR 検査で陽性が判明した検体の全て（入院、外来とも）に対して、変異株スクリーニング PCR を実施している。

東京では3月以降、従来型（501と484の変異のない欧州型）から、R.1系統と考えられる E484K 単独変異株（感染力増強はないが、免疫から逃避する性質があることが研究室での実験で知られている）に主流が置き換わり、現在も続いている。3月以降、神戸・大阪での新型コロナウイルスの過半数を占めるイギリス型変異株（感染力が強く、重症化にも関与する可能性がイギリスから報告された）が、東京でも拡がり始めたことが示唆される。

## 当院の変異株スクリーニング PCR の結果

	イギリス型	南ア・ブラジル型	E484K 単独変異	従来型	型判定不能
2月	0	0	2	20	3
3月	0	0	10	4	7
4月(12日まで)	3	0	15	9	7
合計	3	0	27	33	17

(再検による修正あり。変異型判定日を基準とした)

注：当院の新型コロナ PCR は 1～数コピー/μL でほぼ陽性となるが、変異株 PCR はウイルス量が少ない検体では判定不能となる。通常、501 変異は約 100 コピー/μL 以上、484 変異は約 1,000 コピー/μL 以上の濃度が必要であり、一方で判定できない場合は、判定不能とした。なお、一人の患者さんから複数の検体が提出された場合は、1 例として数えている。

### 参考 1： 新型コロナウイルス変異株の種類

	N501Y 変異	E484K 変異
イギリス型	あり	なし
南ア型・ブラジル型	あり	あり
E484K 単独変異 (R.1 系統株など)	なし	あり
従来型 (欧州型)	なし	なし

● N501Y 変異：スパイク蛋白の 501 番目のアミノ酸が N(アスパラギン)から Y(チロシン)に変異。感染力増強が報告されており、重症化の可能性も示唆されている。

● E484K 変異：スパイク蛋白の 484 番目のアミノ酸が E(グルタミン酸)から K(リジン)に変異。この変異によって、ワクチン接種により体内で産生された抗体の効果が減弱する可能性が示唆されており、免疫逃避型変異と言われる。現時点では感染力や重症化に関与しないとされる。

### 参考 2： 当院での変異スクリーニング PCR の検査法

- 1) 検体として鼻咽頭ぬぐい液 1mL (スワブを 1%DTT 含有 PBS1mL に浸漬) を使用
- 2) Ampdirect 新型コロナウイルス検出キット (島津製作所) を用いてウイルス検出と定量
- 3) 陽性の結果が得られたら、残った検体から RNA を精製 (ウイルス RNA 抽出キット：QIAGEN 社)
- 4) 変異スクリーニング RT-PCR を行い (VirSNiP SARS-CoV-2 Spike N501Y と VirSNiP SARS-CoV-2 Spike E484K:いずれも MOLBIOL 社)、解離曲線解析によって N501Y 変異と E484K 変異の有無を判定 (今後、他の変異 PCR キットに変える可能性もある)

### 【医療・検査関係の皆様への提言】

#### 1) E484K 変異の検査の拡充

これまで“変異株”として報告されている数値は N501Y 変異株 (=ほぼイギリス変異株) に限定されており E484K 変異株の拡がりの把握が不十分である。E484K 変異株の感染力を正しく評価するには実態の把握が不可欠であり、この検査の拡充が必要である。

#### 2) N501Y 変異の検査の拡充

今後、東京でも大阪、神戸と同様に、感染力の強い N501Y 変異株が急速に蔓延する可能性がある。適切に検査を実施することが、蔓延防止に寄与できると考えられる。

東京医科歯科大学医学部附属病院検査部

検査部長 (教授) 東田 修二

技師長 市村 直也

臨床検査技師 永野 勝稔

高槻 祐菜  
岩崎 由美  
(変異 PCR 担当)  
園部 一成  
中島 淳  
高橋 祐太  
湯浅 そのか  
(患者 PCR 担当)  
佐々 千尋  
(両者を担当)

---

## 第 1 報 東京医科歯科大学病院における新型コロナウイルス変異株 PCR (2021.4.1)

東京における新型コロナウイルスの変異株は、2021 年 3 月時点でイギリス型 (N501Y 変異) は少なく、免疫逃避型 (E484K 変異) が急速に蔓延している可能性を確認した

### ポイント

2021 年 2 月 1 日から 3 月 31 日に東京医科歯科大学医学部附属病院で新型コロナウイルス PCR 検査で陽性が判明した全患者を対象に N501Y 変異 (イギリス型などでみられる、感染力が増強する変異) と E484K 変異 (免疫逃避型変異) を検出するスクリーニング PCR 検査を行った。N501Y 変異は認められなかったが (0/42 名)、E484K 変異が 33% (12/36 名) に認められ、このうち 3 月分では 71% (10/14 名) と高率であった。以上より、当院に限られた少数症例での検討ではあるが、東京では 2021 年 3 月時点で N501Y 変異株は少ない一方、E484K 変異株がすでに従来型から置き換わっている可能性がある。

### 背景

新型コロナウイルスの変異株の増加が問題となっている。神戸市では感染者に占めるイギリス型変異株の割合が 55.2%であったと 3 月 19 日に発表された。一方、東京でこれまでに確認された変異株感染者は数十名と少ない。これは変異解析が少数の抜き取り検査でしか行われていないためであるとの論評がある。これを実証するために、当院での PCR 陽性患者全員を対象として変異スクリーニング PCR を行うことにした。

また、現在、“変異株”として報告されているのは N501Y 変異に限定されており、それ以外の重要な変異が見逃されている可能性がある。そのため、免疫逃避型変異として知られる E484K 変異も合わせて解析することにした。

### 方法

2021 年 2 月 1 日から 3 月 31 日までに東京医科歯科大学医学部附属病院を受診 (外来もしくは入院) して、新型コロナウイルスを検出する PCR 検査で陽性が判明した 48 名の全患者を対象とした。患者の鼻咽頭拭い液の残余保存検体を用いて、N501Y 変異と E484K 変異を検出するスクリーニング PCR 検査を行った。

### 結果

一部の患者では、ウイルス量が少ないなどの理由で、明瞭に判定できる解析を実施できなかった。N501Y 変異 PCR を実施した 42 名全員で変異がみられなかった。一方で、E484K 変異 PCR を実施した

36名のうち、変異ありが12名、変異なしが24名であった（変異率33%）。この36名中、2月に受診した22名のうち変異ありが2名（2月の変異率9%）、3月に受診した14名のうち変異ありが10名（3月の変異率71%）であり、急速にE484K変異株が蔓延している可能性が示された。E484K変異を示した12名に海外渡航歴はなく、都内の各地に在住し、相互の接触はなかった。年齢は20代から80代まで分布し、重症度は無症状1名、軽症1名、中等症9名、重症1名であった。中等症以上の10名が入院し、うち2名はすでに軽快退院した。なお、無症状1名は他疾患の小手術を受けるために入院前スクリーニングとしてPCR検査を受けた患者である。

#### 変異株スクリーニング PCR の結果

	N501Y 変異		E484K 変異	
	変異あり	変異なし	変異あり	変異なし
2月	0	24	2	20
3月	0	18	10	4
合計	0	42	12	24

注：501と484で合計数が異なるのは、501変異は約100コピー/μLで解析可能だが、484変異は約1,000コピー/μL以上の検体が必要であることによる。

N501Y 変異あり（イギリス型、南ア型・ブラジル型変異株）	0例
N501Y 変異はなく E484K 変異あり（R.1 系統株など）	12例
N501Y 変異・E484K 変異ともになし（従来型：欧州型）	24例
型判定不能（ウイルス量がごく少ないなどの理由）	12例
計	48例

#### 考察

1) 東京ではイギリス型変異株は3月時点では少ない可能性が高い

今回の検査とは別に、東京医科歯科大学ではこれまでに50例を超える検体で、新型コロナウイルスの全ゲノム解析を実施したが、この解析でもN501Y変異を持つ症例は見つかっていないことから、現時点までの本学の約90例の解析ではN501Y変異株は確認していない。神戸市ではN501Y変異株が解析した検体の半数を超えると報告されたが、神戸（関西）と東京では蔓延している変異株のタイプが異なる可能性が考えられる。

2) 東京ではE484K変異株が3月時点で従来型から置き換わりつつある可能性がある

今回の結果は当院患者に限った少数例の解析であり、東京全体の現状であるとは断定できないが、東京ではE484K変異を有する株(R.1系統株など)が3月時点ですでに従来型から遷移しつつある可能性がある。

#### 提言

1) E484K変異に対する検査の拡充

これまで、“変異株”として報告されている数値はN501Y変異株に限定されており、E484K変異株の蔓延が見逃されてきている。E484K変異に対する検査の拡充が必要である。

2) N501Y変異に対する検査の拡充

3月時点で、東京ではN501Y変異株が蔓延していないとすれば、今後、N501Y変異に対する検査の拡充と対応の強化によって、N501Y変異株の蔓延を防止できる可能性がある。

## 参考資料

### N501Y 変異：

スパイク蛋白の 501 番目のアミノ酸が N(アスパラギン)から Y(チロシン)に変異。感染力増強が報告されており、重症化の可能性も示唆されている。

### E484K 変異：

スパイク蛋白の 484 番目のアミノ酸が E(グルタミン酸)から K(リジン)に変異。この変異によって、ワクチン接種により体内で産生された抗体の効果が減弱する可能性が示唆されており、免疫逃避型変異と言われる。現時点では感染力や重症化に関与しないとされる。

新型コロナウイルス変異株の種類

	N501Y 変異	E484K 変異
従来型（欧州型）	なし	なし
イギリス型	あり	なし
南ア型・ブラジル型	あり	あり
R.1 系統株など	なし	あり

東京医科歯科大学医学部附属病院検査部

検査部長（教授） 東田 修二

技師長 市村 直也

臨床検査技師 永野 勝稔

高槻 祐菜

佐々 千尋

（変異 PCR 実施）

東京医科歯科大学ウイルス制御学分野

准教授 武内 寛明

（全ゲノム解析実施）

E484K variants of SARS-CoV-2, not N501Y type, may become the epidemic form in Tokyo in March, 2021

Shuji Tohda, Naoya Ichimura, Katutoshi Nagano,

Yuna Takatuki, Chihiro Sassa

and Hiroaki Takeuchi

TMDU